### 令和3年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業報告

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、感染予防対策の徹底に取り組みながら事業を継続していくという、困難な課題に直面し、対応を続けた1年となった。

当法人においては、令和2年度に引き続き、関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、 それぞれの施設において、感染拡大防止への取り組みを徹底して行った。

令和3年4月25日に大阪府を対象として発令された3回目の緊急事態宣言下においては、「摂津市立身体障害者・老人福祉センター」及び「摂津市立第1児童センター」が約2か月間の休館となった。また、全ての施設において、行事の中止や内容の見直しを余儀なくされ、「地域生活支援センター」においては、家族の面会中止や帰宅・外出の自粛を行うなど、大きな影響を受けた。

職員本人や同居する家族が新型コロナウイルスに感染した場合や、濃厚接触者となった場合などにおいては、令和2年度に引き続き、特別休暇として取り扱うこととした。また、新型コロナワクチン接種について、接種を受ける場合や、副反応が発生した場合についても特別休暇として取り扱い、接種を希望する職員に対しては、近隣の医療機関の協力のもとワクチン接種を実施した。さらに、「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ひびきはばたき園」においては、接種を希望する利用者に対して、協力医療機関や嘱託医によるワクチン接種を実施した。

福祉サービスの質の向上を図ることを目的に、「摂津市立みきの路」「摂津市立児童発達支援センター」「摂津市立ひびきはばたき園」の3つの施設において、福祉サービス第三者評価を受審した。今回の結果をもとに、今後はそれぞれの施設において課題を具体的に把握し、サービスの質の向上に結び付けることができるように取り組んでいきたい。

人材確保に向けた取り組みでは、2022年卒採用活動において、学生1名を採用することができた。2023年卒採用活動においては、就職フェアへの参加やインターンシップの実施など、昨年度までの課題を踏まえ、さらに強化した取り組みを行った。

人材育成に向けた取り組みでは、次代を担う人材の育成や人材定着を目的として、新たに 人材育成担当統括者を配置した。そして、人材育成担当統括者と各施設の主任以下の職員で 構成する人材育成策検討委員会を設置し、委員会人材育成ビジョンの作成に向けた検討を 行った。

1	法人事務局	•	•	•	•	•	•	1
2	地域生活支援センター							
	I 障害者支援施設「摂津市立みきの路」	•	•	•	•	•		18
]	Ⅲ 共同生活援助(グループホーム)	•	•	•	•	•	•	34
3	摂津市立児童発達支援センター							
	I 児童発達支援センター「つくし園」	•	•	•	•	•	•	49
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」	•	•	•	•	•	•	61
4	多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	•	•	•	•	•	•	67
5	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	•	•	•	•	•	•	89
6	摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」	•	•	•	•	•	•	98
7	摂津市立第1児童センター	•	•	•	•	•	•	110
8	摂津市障害者総合支援センター							
	I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」	•	•	•	•	•	•	120
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	•	•	•	•	•		127

# 1 法人事務局

#### 1 概況

令和3年度は、令和2年から続くコロナ禍により、感染予防対策の徹底や、感染発生時の拡大防止に向けた対応に全力で取り組むなど、これまでのサービスの在り方について見直しを図る必要性を求められ続けた1年となった。当法人においては、関係省庁の発表等に基づく対応を行い、必要に応じて、職員への周知や注意喚起を行った。

理事会、評議員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、必要に応じて「決議の省略」により実施した。

また、施設連絡会、法人内研修、職員採用面接等については、必要に応じて「WEB開催」とした。

### 2 事業の実施状況

### (1) 理事会の開催

П	開催日	出尽	<b>常者</b>		議案
	令和3年	理事	6名	1	理事長の業務執行報告
	5月28日	監事	2名	2	業務執行理事の業務執行報告
				3	令和2年度事業報告承認
1	決議の省略			4	令和2年度収支決算承認
	による開催			5	評議員選任候補者推薦
				6	令和3年度第1回評議員選任・解任委員会開催
				7	令和3年度第1回定時評議員会開催
2	令和3年	理事	5名	1	理事長の選定
2	6月22日	監事	2名	2	業務執行理事の選定
	令和4年	理事	6名	1	理事長の業務執行報告
	3月24日	監事	2名	2	業務執行理事の業務執行報告
				3	令和3年度補正予算(第1号~第4号)専決処分
				4	職員就業規則の一部を改正する規則制定
				5	職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定
				6	役員賠償責任保険契約締結の件
3				7	令和 4 年度指定管理者年度協定書締結
				8	令和 4 年度事業計画承認
				9	令和 4 年度収支予算承認
				10	令和3年度第2回評議員会開催
				11	評議員候補者推薦
				12	令和3年度第2回評議員選任・解任委員会開催
				13	施設長選任
,	令和4年	理事	5名	1	業務執行理事の選定
4	3月28日	監事	2名		
				<u> </u>	

### (2) 評議員会の開催

口	開催日	出席者		議案
1	令和3年 6月22日	評議員 7名理事 5名監事 2名	1 2 3	令和3年度第1回理事会の議事 令和2年度収支決算承認 理事及び監事選任
2	令和 4 年 3 月 28 日	評議員 7名理事 5名監事 2名	1 2	定款の一部を改正する定款制定 理事選任

# (3) 評議員選任・解任委員会の開催

口	開催日	出席者	議案	
1	令和3年6月18日	評議員選任・解任委員 理事	3名 2名	評議員候補者選任
2	令和 4 年 3 月 28 日	評議員選任・解任委員 理事	3名 2名	評議員候補者選任

# (4) 監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
令和3年5月21日	監事 2名	<ol> <li>令和2年度事業報告</li> <li>令和2年度計算書類及び財産目録</li> </ol>

# (5) 行政監査

実施日	内 容	出席職員
令和3年	社会福祉法人の運営状況に関する書類確認及び	理事長
8月27日	社芸価価広人の連呂仏がに関する青規唯認及び     ヒアリング	事務局長
0月21日		事務局職員

# (6) 施設連絡会の開催

開催日	開催方法	出席者	主な内容			
令和3年4月14日	WEB	11 名	各施設の近況報告			
节相3千年月14日	WED	11 石	各施設の近況報告 理事会・評議員会の日程について 他 各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症への対応 他 各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症への対応 他 各施設の近況報告			
令和 3 年 4 月 28 日	WEB	11 5	各施設の近況報告			
节和3年4月20日	WED	11 名	新型コロナウイルス感染症への対応 他			
<b>△和3年5日11日</b>	WED	11 夕	各施設の近況報告			
令和 3 年 5 月 12 日 WEB 11 名		11 石	新型コロナウイルス感染症への対応 他			
令和3年5月26日	WEB	11 名	各施設の近況報告			
7年3年3月20日	WED	11 石	人材育成策検討委員会について 他			

			夕佐乳の写印却生
令和3年6月16日	WEB	11 名	各施設の近況報告     新型コロナワクチン接種について 他
			新空コロケリクテン接種について 他   各施設の近況報告
令和3年6月30日	WEB	3   11名   令和 2 年度決算について 他	
令和3年7月14日	WEB	11 名	
令和3年7月28日	WEB	11 名	
令和3年8月11日	WEB	11 名	
令和3年8月25日	WEB	11 名	
令和3年9月15日	WEB	11 名	
			各施設の近況報告
令和3年9月29日	WEB	11名	令和3年大阪府最低賃金について 他
A GUO HOUR BOOK			各施設の近況報告
令和3年10月13日	WEB	11 名	全体研修の実施について 他
<b>∆</b> 4π 2 / π 10 □ 07 □	MED	11 7	各施設の近況報告
令和3年10月27日	WEB	11名	新型コロナウイルスへの対応について 他
令和 3 年 11 月 10 日	WEB	11 名	各施設の近況報告
节和3年11月10日	WED	11 石	令和3年年末調整について 他
   令和 3 年 11 月 24 日	月 24 日 WEB		各施設の近況報告
17/11 5 <del>+ 11</del> / 1 2 + 1	WED	10 11	法人内事業発表会について 他
令和 3 年 12 月 8 日	WEB	11 名	各施設の近況報告
	,,,,,,	27 [	2023年卒採用への取り組みについて他
令和3年12月22日	WEB	11 名	各施設の近況報告
令和 4 年 1 月 12 日	WEB	11 名	各施設の近況報告
令和 4 年 1 月 26 日	WEB	11 名	
令和4年2月9日	WEB	10 名	
令和 4 年 2 月 24 日	WEB	11 名	職員親睦会について 他 名
令和4年3月9日	WEB	11名	

令和4年3月23日	対面	11 名	各施設の近況報告 令和4年4月1日付人事異動 他
-----------	----	------	-----------------------------

#### (7) 法人運動会の開催

利用者・家族・OB・職員参加の「法人運動会」について、例年は10月に開催をしてきたが、昨年度に引き続き、今年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

### 3 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応

厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等について、速やかに情報収集を 行い、それに基づき以下のように対応をした。

### (1) 令和3年度中の経過

令和3年4月5日	大阪府を含む3府県を対象に「まん延防止等重点措置」
1.14.2 1 2/4.2	適用
令和 3 年 4 月 25 日	大阪府を含む4都府県を対象に、3回目の「緊急事態宣言」
7和3年4月25日	発出
△和2年4日2ℓ日	摂津市立第1児童センター臨時休館(~6/20)
令和3年4月26日	摂津市立身体障害者・老人福祉センター臨時休館(~6/20)
△和2年7月20日	「緊急事態宣言」の対象区域から大阪府が解除される
令和3年6月20日	「まん延防止等重点措置」へ移行
<b>△和2左0日1日</b>	大阪府を含む4都府県を対象に、4回目の「緊急事態宣言」
令和3年8月2日	発出
令和3年9月30日	「緊急事態宣言」の対象区域から大阪府が解除される
△和2年10日3月日	大阪モデルの「緑信号」が点灯
令和3年10月25日	大阪府内全域の飲食店への時短要請を全面解除
令和4年1月8日	大阪モデルが「黄信号(警戒)」へ移行
令和4年1月24日	大阪モデルが「赤信号 (非常事態)」へ移行
A4n 4 /r: 1 日 97 日	大阪府を含む 34 都道府県を対象に「まん延防止等重点
令和 4 年 1 月 27 日 	措置」適用
<b>∆</b> 4π 4 /π 0 □ 01 □	「まん延防止等重点措置」の適用区域から大阪府が解除
令和 4 年 3 月 21 日	される

### (2)特例措置について

#### ① 特別休暇の取扱いについて

職員が以下のいずれかに該当する場合、特別休暇として取り扱うこととした。

- ・職員本人が、新型コロナウイルスに感染した場合、治癒するまでの間
- ・職員本人が、濃厚接触者となっている場合、保健所の指示による自宅待機期間が

#### 終了するまでの間

- ・同居する家族が、濃厚接触者となっている場合、同居家族が濃厚接触者として 特定された日から、保健所の指示による自宅待機期間が終了するまでの間
- ・職員本人が、PCR検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
- ・同居する家族が、PCR 検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校、中学校、特別支援学校等の臨時休業 等その他の事情により、子の世話を行う職員が勤務しないことがやむを得ない場合
- ・新型コロナワクチン接種を受ける場合、接種等に要する時間
- ・新型コロナワクチン接種に伴う風邪症状等の副反応が発生した場合

### ② 通勤経路変更の取扱いについて

公共交通機関を利用して通勤している職員については、臨時的な措置として、自家用 車等を併用しての通勤を認めている。

### (3) ICT (情報通信技術) の活用

- ・施設連絡会、法人内研修、会議等を必要に応じて「WEB 開催」とした。
- ・令和2年度に引き続き、職員採用面接について、1次面接を「オンライン面接」で実施した。
- ・新卒採用職員の採用説明会について、「対面」と「オンライン」の両方で開催した。

### (4) 職員への注意喚起

- ・全職員向けの通知文を合計 12 回配布した。
- ・職員に対して、国の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)及び大阪コロナ 追跡システムへの登録を周知した。
- ・37.5 度以上の発熱などの風邪症状がある場合や体調不良がみられる場合は、出勤をせず、速やかにかかりつけ医等を受診し、施設長へ診断結果を必ず報告するよう周知した。
- ・マスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒、「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避など、感染予防対策の徹底を周知した。

#### (5) 新型コロナワクチン接種(1・2回目接種)

近隣の医療機関の協力を得て、希望する職員に対して新型コロナワクチン接種を実施 した。また、茨木商工会議所主催の職域接種においても、同様に新型コロナワクチン接種 を実施した。

#### (6) 摂津市障害者雇用確保支援金

新型コロナウイルスの影響が続く中、令和3年8月2日から9月30日までの間、働く 意欲のある摂津市民の障害者を積極的に雇用する事業者に対して、該当者1人あたり 10,000 円の「摂津市障害者雇用確保支援金」が支給された。

### (7) 摂津市高齢者雇用確保支援金

新型コロナウイルスの影響が続く中、令和3年8月2日から9月30日までの間、働く 意欲のある摂津市民の高齢者を積極的に雇用する事業者に対して、該当者1人あたり 10,000円の「摂津市高齢者雇用確保支援金」が支給された。

#### (8) 新型コロナウイルス感染症が発生した法人への緊急見舞金

利用者や役職員に新型コロナウイルス感染症が発生した会員法人に対して、全国社会福祉法人経営者協議会より、感染者1名につき5,000円の見舞金が支給された。

### (9) 障がい福祉サービス等事業所に対するサービス継続支援事業助成金

施設・事業所が、感染防止対策を継続的に行うため、衛生用品等の購入に必要な経費に対して、大阪府より「障がい福祉サービス等事業所に対するサービス継続支援事業助成金」が以下の通り支給された。

摂津市立みきの路	41,000 円
グループホーム	14,000 円
摂津市立児童発達支援センター	20,000 円
摂津市立ひびきはばたき園	35,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	9,000円

#### 4 情報公開

#### (1) 財務諸表等電子開示システム

独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」 を通じて、令和元年度計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開した。

#### (2) 障害福祉サービス等情報公開システム

平成30年4月より施行された「障害福祉サービス情報公開制度」に基づき、独立行政 法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人 の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

### (3) ホームページでの情報公開

法人ホームページにおいて、定款、役員等名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

### 5 人材確保に向けた取り組み

### (1) 2022 年卒採用に向けた取り組み

### ① 採用説明会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEB 開催とした。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和3年4月21日	WEB 開催	3名	理事長、法人事務局
令和3年5月25日	WEB 開催	4名	理事長、法人事務局
令和3年6月8日	WEB 開催	2名	理事長、法人事務局
令和3年6月29日	WEB 開催	3 名	理事長、法人事務局
令和3年7月16日	WEB 開催	1名	理事長、法人事務局

### ② 広報活動

- ・「マイナビ 2022」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からの エントリーや採用説明会の予約受付をした。
- ・学生との連絡ツールとして、電話やメールに加えて、LINE を取り入れ、法人ホームページにも掲載した。

### ③ 内定式の開催

入職意識を高め、法人へ理解を深める場とすることを目的として、令和 4 年度 新卒採用職員 1 名の内定式を実施した。

実施日	参加職員	内 容
令和3年10月12日	理事長	・内定証書授与
	事務局長	・若手職員との懇談会
	保育士	・施設見学
	支援員	・入職までの流れについての説明
	法人事務局	

### (2) 2023 年卒採用に向けた取り組み

### ① 就職フェアへの参加

実施日	内 容
令和 3 年 11 月 27 日	「マイナビ福祉・介護業界インターンシップフェア」
	・主催:株式会社マイナビ
	・場所:梅田スカイビルアウラホール
	・当日参加職員:理事長、支援員、保育士、法人事務局
	・ブース来訪学生数:43 名

令和4年3月16日	「マイナビ福祉・介護業界就職セミナー」
	・主催:株式会社マイナビ
	・場所:ハービスホール
	<ul><li>・当日参加職員:支援員、保育士、法人事務局</li></ul>
	・ブース来訪学生数:21 名

### ② インターンシップの実施

2022 年卒採用活動においては、学生と初めて接触する機会が大学 3 年次の 3 月から 実施される就職フェアや採用説明会からであったため、そこで仮に優秀な学生と接触 できたとしても、それ以前のインターンシップ時期から接触している他法人に比べて 不利であった。2023 年卒採用活動においては、インターンシップとして施設見学を実施し、大学 3 年次の早い時期から学生と接触していくことができた。

実施日	実施内容	参加学生数	実施施設
令和3年8月17日	施設見学(WEB)	1名	児童発達支援センター
令和3年9月27日	施設見学(対面)	1名	児童発達支援センター
令和3年11月11日	施設見学(対面)	1名	児童発達支援センター
17年17月11日	/地区元子(万田)	1 11	ひびきはばたき園
令和 3 年 11 月 12 日	施設見学(対面)	1名	児童発達支援センター
节和3年11月12日	心敌兄子 (刈田)	1 1	第1児童センター
令和 3 年 12 月 14 日	施設見学(対面)	1名	児童発達支援センター

### ③ 採用説明会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「対面」と「WEB」の両方で開催し、 参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和4年3月7日	WEB 開催	3名	理事長、法人事務局
令和 4 年 3 月 14 日	WEB 開催	1名	理事長、法人事務局
令和 4 年 3 月 29 日	WEB 開催	2名	理事長、法人事務局
令和 4 年 3 月 29 日	みきの路	2名	理事長、法人事務局

### ④ 広報活動

- ・「マイナビ 2023 プレサイト」にインターンシップに関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からインターンシップの予約受付をした。
- ・「マイナビ 2023」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からの エントリーや採用説明会の予約受付をした。
- ・学生との連絡ツールとして、電話やメールに加えて、LINE を取り入れ、法人ホーム

### ページにも掲載した。

### (3) 中途採用に向けた取り組み

### ① 就職フェアへの参加

実施日	内容	
令和3年10月3日	「2021 介護のお仕事福祉就職フェア」	
	· 主催: 摂津市介護保険事業者連絡会	
	・場所:摂津市立ミュニティプラザ	
	・当日参加職員:理事長、施設長、法人事務局	
	・ブース来訪者数:9名	

### ② 広報活動

法人ホームページに募集要項を掲載し、職員募集を行った。

### 6 人材育成に向けた取り組み

### (1) 人材育成策検討委員会

今年度より、次代を担う人材の育成や人材定着を目的として、新たに人材育成担当 統括者を配置した。そして、人材育成担当統括者と各施設の主任以下の職員で構成する 人材育成策検討委員会を設置し、委員会人材育成ビジョンの作成に向けた検討を行った。

開催日	開催方法	出席委員	主な内容
令和3年7月13日	ᆉᄑ	114	・法人の人材育成に関する現状と、今後の
令和3年7月29日	対面	14名	委員会での検討事項と予定について
令和3年8月26日	WEB	11名	・委員会での検討事項と今後の予定 ・喫緊の課題解決に向けた取組案について
令和3年9月21日	WEB	11名	・職員からの意見集約の結果について ・法人人材育成ビジョン案について
令和 3 年 10 月 20 日	WEB	9名	<ul><li>・今年度実施する職員研修内容について</li><li>・キャリアパスについて</li></ul>
令和3年12月15日	WEB	11名	・理事長、事務局長への中間報告について ・今年度実施する職員研修内容について
令和 4 年 1 月 19 日	WEB	9名	・今年度実施する職員研修について
令和4年2月16日	WEB	7名	・理事長、事務局長との協議結果について
令和4年3月11日	WEB	9名	・法人人材育成ビジョン案について ・令和3年度の取り組みまとめ ・令和4年度の取組予定概要

### (2) 職員勉強会の実施

施設長及び会計担当職員を対象に、職員勉強会を以下の通り実施した。

実施日	開催方法	主な内容	参加職員数
令和3年 8月5日	WEB	支出伺書を作成する際の注意点について	14名
令和 4 年 2 月 25 日	WEB	年度末の会計処理の注意点について	14名

### (3)全体研修の実施

全職員を対象に、全体研修を以下の通り実施した。

開催日	内 容	主 催	場所	参加職員数
令和3年 9月9日	令和3年度共生・福祉のまちづくり (ソーシャルインクルージョン) 研修会	大阪府社会福祉協議会	WEB 開催	7名
令和3年 11月2日 11月5日 11月8日	人権・同和問題企業啓発講座	部落解放・ 人権研修所	WEB 開催	41 名
令和3年 11月15日	令和3年度第9回障害者支援 施設部会全国大会	日本知的 障害者福祉 協会	WEB 開催	6名
令和3年 11月24日	施設職員の心のケアを考える 講座	大阪府社会福祉協議会	WEB 開催	23 名
令和3年 12月2日~ 12月16日	LGBT 関する人権研修	法人事務局	DVD 視聴	全職員

### (4) 法人事務局職員研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内容	主催	場所	参加者
令和3年 8月3日	令和3年度労働セミナー	大阪府社会 福祉協議会	WEB 開催	事務局 職員
令和3年 9月8日 9月17日 9月28日	令和3年度給与設計実務研修	大阪府社会 福祉協議会	社会福祉指導センター	事務局職員

令和3年 9月10日	令和 3 年度会計管理者・担当 者研修会	大阪府社会 福祉協議会	社会福祉指導センター	事務局職員
令和3年 9月15日	令和 3 年度人材確保のための オンラインセミナー	大阪府社会 福祉協議会	WEB 開催	事務局職員
令和3年 10月6日 10月7日	全国知的障害関係施設長等会議	日本知的 障害者福祉 協会	WEB 開催	事務局職員
令和 4 年 1 月 18 日	社会福祉法制と障がい福祉	人材育成策 検討委員会	みきの路	事務局 職員
令和 4 年 2 月 3 日	近畿社会福祉法人経営青年会令和3年度研修会	兵庫県社会 福祉協議会	WEB 開催	事務局職員
令和 4 年 2 月 7 日	会計実務者決算講座	全国社会福 祉法人経営 者協議会	WEB 開催	事務局職員
令和 4 年 2 月 10 日	令和3年度 近畿社会福祉 法人経営者協議会 近畿ブロ ックセミナー滋賀大会	近畿社会福 祉法人経営 者協議会	WEB 開催	事務局職員

# 7 人材定着に向けた取り組み

(1) 新規採用職員に対する研修体系の構築

# ① 採用時研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施した。

実施日	内 容	参加者
令和3年 4月1日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員5名
令和3年 7月1日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員1名
令和3年 9月1日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員2名
令和3年 11月1日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員1名

### ② 新規採用職員日誌

- ・新規採用職員へのOJTの一環として、配属先の指導担当職員との3か月にわたる 「新規採用職員日誌」への記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。
- ・採用3か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。

### ③ 採用6か月後の懇話会

採用後6か月を経過した職員を対象に、理事長及び事務局長との懇話会を実施した。

実施日	場所	参加者				
令和3年	身体障害者・老人	   令和 2 年度・3 年度新規採用職員 6 名				
11月9日	福祉センター	〒州 2 平及・3 平及利税休用職員 0 石				
令和3年	児童発達支援センター	令和2年度・3年度新規採用職員8名				
11月30日	元里光廷又抜セノダー	行相 2 年度・3 年度利規採用職員 8 石 				

### ④ 採用3年後の懇話会

採用後3年を経過した職員を対象に、理事長及び事務局長との懇話会を実施した。

実施日	場所	参加者
令和4年	WEB 開催	平成 30 年度新規採用職員 7 名
1月14日	WED 州催	十成 30 年度利税休用職員 1 石

### (2) 福利厚生事業

働きやすい職場づくりを目指し、福利厚生事業の充実に努めた。

職員健康診断	◎一次検診
	・実施日:令和3年7月26日~7月30日
	◎二次検診
	・実施日:令和3年10月12日、13日
	◎子宮がん検診
	・実施日:令和3年11月1日、12日
	◎夜勤従事職員健康診断
	・実施日:令和4年3月30日
大阪民間社会福祉事業従事者	・一般給付金事業
共済会	・生活サポートサービス 他
福利厚生センター	・慶事のお祝い
(ソウェルクラブ)	<ul><li>・健康生活用品給付 他</li></ul>

### (3) 働き方改革への取り組み

年次有給休暇が10日以上付与される全ての職員に対し、年5日、時季を指定して 年次有給休暇を取得させた。

### 8 地域における公益的な取り組み

社会福祉法第24条第2項の規定により、地域における公益的な取り組みの実施は、社会福祉法人の責務として位置づけられている。当法人では、地域から支えられる施設づくりを目指して、以下の取り組みを実施し、その内容を法人ホームページにも掲載をした。

#### (1) 社会貢献事業

昨年度から引き続き、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

### (2)「こども食堂」の実施

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止とした。

### (3) 災害時の福祉避難所

「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ふれあいの里」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、災害時には、地域の高齢の方や障害のある方々などを地域から受け入れ、安心安全に過ごせる避難所を運営できるよう、「福祉避難所運営マニュアル」に基づき、災害用備蓄品の整備を行っている。

#### (4) 地域清掃活動

ふれあいの里の各施設(摂津市立ひびきはばたき園、摂津市立身体障害者・老人福祉センター、摂津市障害者職業能力開発センター)の職員が、定期的に周辺の清掃、ゴミ拾いなどを実施した。

#### 9 虐待防止・身体拘束等適正化委員会の設置に向けた取り組み

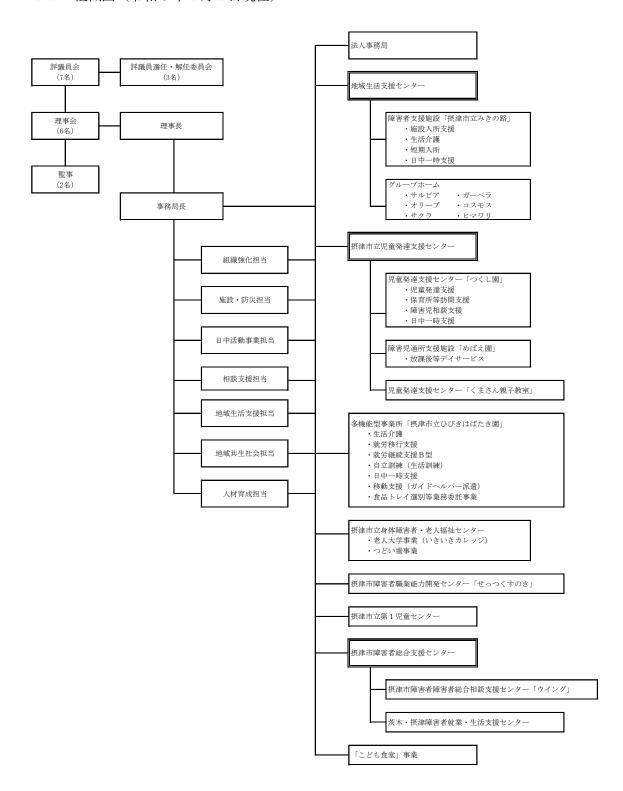
令和3年度からの障害福祉サービス等報酬改定に伴い、障害者虐待防止および身体拘束等適正化のさらなる推進のため、令和4年度から「虐待防止委員会」および「身体拘束等適正化委員会」の設置が義務づけられることとなった。当法人においては、以下の通り検討を行い、令和4年度から「虐待防止・身体拘束等適正化委員会」として、一体的に「虐待防止委員会」と「身体拘束等適正化委員会」を設置・運営していくこととした。また、「虐待防止マニュアル」を作成し、職員への周知を行った。

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和3年		事務局長	・障害福祉サービス等報酬改定の内容
	WEB	施設長	・各施設における現状
12月8日		法人事務局	・今後の進め方について
令和 4 年 1 月 12 日	WEB	事務局長 施設長 法人事務局	・「虐待防止マニュアル」の内容について ・委員会のメンバー構成について

# 10 役員・評議員体制 (令和3年4月1日現在)

役職名	氏 名	所 属
理事長	松嶋 桂子	社会福祉法人摂津宥和会 理事長
理事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理事	馬渡 恵美子	摂津市肢体不自由児者父母の会 会長
理事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	登阪 弘	社会福祉法人摂津宥和会 事務局長
監 事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 委員長
監 事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 理事長
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	井川 美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	大阪人間科学大学 教授
評議員	杉本 正彦	一般財団法人摂津市保健センター 事務局長
評議員	野村 眞二	摂津市保健福祉部長

### 11 組織図(令和3年4月1日現在)



# 12 施設定員と職員配置(令和3年4月1日現在)

			職員	配置		
施設区分	施設定員	正職員(再雇用 職員含む)	契約職員	嘱託職員	嘱託医	合 計
法人事務局		4	1			5
地域生活支援センター						
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」						
施設入所支援	30	24	12	11	1	48
生活介護	40					
短期入所・日中一時支援	5					
グループホーム「サルビア」	10					
グループホーム「ガーベラ」	5					
グループホーム「オリーブ」	4					
グループホーム「コスモス」	4	6	2	36		44
グループホーム「サクラ」	6	1			l	
グループホーム「ヒマワリ」	10	1				
短期入所「ヒマワリ」	5	1				
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター「つくし園」	30	13	5		2	20
障害児通所支援施設「めばえ園」	10	2	1	2	1	6
くまさん親子教室		3				3
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」						
生活介護	28					
就労移行支援	10	16	9	5	3	33
就労継続支援B型	16	]				
自立訓練	6					
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		3	2			5
摂津市障害者職業能力開発センター	20	5	2	1		8
摂津市立第1児童センター		3	2			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援センター 「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活支援 センター		4	3			7
合 計		90	39	55	7	191

# 13 車輌管理状況(令和4年3月31日現在)

	施設	年 式	取得 年月日	車輌	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備考
1	法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ パッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	2,138	法人	
2	地域生活支援センター 摂津市立みきの路	H29.3	H29.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	8,380	法人	日本財団助成
3	n	H30.6	H30.6	スズキ エブリィ 車椅子移動車	大阪880 あ 41-39	2,499	リース	
4	n	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-28	7,278	リース	
5	"	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-29	5,565	リース	
6	"	H27.3	H27.3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	2,068	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	7,186	法人	
8	"	R2.7	R2.7	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 50-96	1,279	法人	
9	"	R3.2	R3.2	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 87-79	4,598	法人	
10	n	R3.4	R3.4	日産 バネット 送迎用バン	大阪800 を 61-21	1,812	リース	
11	摂津市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	3,176	法人	日本財団助成
12	n	H29.4	H29.4	日産 シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200 は 5-98	7,273	リース	
13	n	H30.4	H30.4	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 は 12-41	3,034	リース	
14	n	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	635	法人	
15	摂津市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 51-66	9,570	法人	日本財団助成
16	"	R2.7	R2.7	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 53-39	8,543	リース	
17	"	H28.2	H28.2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	11,052	法人	日本財団助成
18	"	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	5,019	法人	
19	"	H29.3	H29.3	トヨタ ノア ステーションワゴン	大阪503 も 91-17	10,332	法人	
20	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	H28.7	H28.7	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 む 61-17	813	リース	R3.7 リース満了
20	"	R3.7	R3.7	トヨタ ルーミー 乗用車	大阪504 と 37-04	1,532	リース	
21	障害者職業能力開発センター せっつくすのき	R2.8	R2.8	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪504 ち 68-65	4,419	リース	
22	摂津市障害者総合支援センター	H23.3	H23.3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	5,985	法人	日本財団助成
23	"	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	675	法人	
24	"	R 1 .7	R1.7	トヨタ アクア 乗用車	大阪504 せ 75-94	2,276	リース	

### 2 地域生活支援センター

### I 障害者支援施設「摂津市立みきの路 |

### 1 施設入所支援・生活介護

#### (1) 概況

利用者の個人としての尊厳の保持を旨とし、利用者が心身ともに健康で生きがいのある生活を送る中で、それぞれの年齢、障がい特性、健康状態に応じ、可能な限りニーズを尊重して、自立と社会参加ができるよう努めた。また、常に利用者の安心、安全を最優先した。

### ① 新型コロナウイルス感染症対策

「利用者を守る」「職員を守る」「みきの路を守る」をスローガンに、日々の健康管理、 情報収集、感染予防の徹底、陽性者発生時の初動対応、衛生備品の確保に努めた。

入所者の帰宅、外出の自粛を継続しているが、利用者、家族の要望に応えられるよう大阪府の感染状況を見ながら検討を重ね、条件付きではあるが 1 月 3 日~1 月 4 日の一泊二日と、1 月 3 日の日帰り帰宅を実施した。7 名が一泊二日の帰宅、3 名が日帰りの帰宅を行いとても喜ばれた。帰所後は、看護師を中心に健康観察と感染予防の徹底に努めた。

感染による重症化を防ぐため、協力医療機関である千里丘協立診療所に依頼し、ワクチン接種(3回)を実施した。1回目と2回目は数名の方が発熱したが、3回目は半数以上の方が発熱した。しかし、その後は重症化することなく回復した。

濃厚接触者の疑いがある場合は、防護服・フェイスシールドの着用、使い捨て食器の活用、処理用ごみ箱の設置等感染対策のフェーズを一段階上げてクラスター防止に努めた。PCR 検査については、市障害福祉課、保健所、協力医療機関とも連携を密に取りながら、検査対象の職員および利用者が積極的に受検するように取り組んだ。

ハード面では、入所フロアの 2 人部屋 4 室に間仕切りを設け、個別化を図りながら 感染予防とプライバシー保護に努めた。摂津市からサーモセンサー・二酸化炭素濃度 測定器・消毒用ポンプスタンドの提供を受け、職員や来館者からの感染防止に取り組ん だ。職員に向けては、法人からの文章や大阪府等からの情報を周知し、伝言ボードも 活用しながら情報共有に努めて感染対策の徹底を図った。

その結果、令和 3 年度は入所者および通所者に感染はなく、クラスターの発生を防ぐ ことができた。

施設行事については、感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き各フロアの行き来 を制限したため、オンラインで実施した。

### ② 大規模修繕工事

令和 2 年度に予定していた、空調・給湯システムの大規模な取替工事を、10 月から

約 2 ヶ月 (1 フロア 2~3 週間) かけて実施した。その間、工事フロアの利用者は、 日中は社会適応訓練室や、ショートステイヒマワリのスペースを借りて活動した。

### ③ 地域生活支援拠点等事業の推進

令和 3 年度、地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として運営規定を変更し、摂津市に登録後、大阪府に申請した。

令和4年3月、短期入所事業で1名の緊急受け入れを行った。

#### ④ サービスの質の向上

利用者の安全と自立を考え、3階に続き2階の浴室にも介護浴槽を設置した。 コロナ禍により延期になっていた第三者評価を3月に受審し、業務マニュアルと支援 マニュアルの整理をしながら全職員が関わる中で、日頃提供しているサービスの見直し

に努めた。

利用者が快適に生活できる環境作りとして、入所フロア食堂の窓にフィルムを貼り、 プライバシーの保護に努めた。

クロスが剥がれた男性入所フロアの廊下に、不燃メラミン化粧板を壁全面に貼り、生活空間を明るくすると共に、清掃や消毒がしやすくなり衛生的になった。

入所フロアのベッドマットを2年かけて全て買い替えた。

安全対策として、全館の電子錠の更新工事を行い、セキュリティ対策に取り組んだ。

### ⑤ ホームページの活用

風通しの良い施設を目指し、日々の活動の様子や行事などの取り組みを、ホームページを活用し情報発信した。インターネットの利用が難しいご家族もおられるため、「みきのみちつうしん(機関紙)」の発行回数を年 7 回に増やし、ホームページ同様に日々の様子を載せ、ご自宅や成年後見人に郵送で配布した。

#### ⑥ 防災拠点としての整備

前年度に備蓄倉庫を設置し、福祉避難所として、摂津市と協力しながら必要な備蓄品、 防災グッズの確保を行った。

今年度新たに、発電機と LED 投光器を各 3 台、圧縮毛布や避難用グッズを購入し、福祉避難所の整備を図った。

### (2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護 (通所)】

#### ■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供

新型コロナウイルス感染予防対策として、診察が必要な受診以外は職員が代理で受診 した。 帰宅の代替えとして、ご家族には毎月手紙と写真を送り利用者の様子を伝えた。また、オンラインを活用した面会と、感染予防を徹底し直接面会を行った。外出の代替えとして、余暇時間のドライブや、近隣のコンビニエンスストアーでの買い物の頻度を増やし、外に出る楽しみを継続した。

### ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、 看護師や主治医にも相談しながら短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行った。

#### ② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を 行い、感染予防の徹底や清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に 努めた。

食事は、栄養士が栄養管理を行い、利用者の嗜好調査を参考にしながらメニューを考え、利用者の嚥下、咀嚼状況に合わせた食事形態で提供した。各フロアの食堂は、新型コロナウイルス感染予防対策として、テーブルをパーテーションで仕切り、利用者同士の距離を空けて座れるよう工夫した。

### ③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。 利用者の身体の状況に応じ、一般浴と機械浴(リフト浴槽、介護浴槽)を利用した。

#### ④ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いした。

### ⑤ 理髪

月に1度、摂津理美容組合より1名と、同じく月に1度、美容師2名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行った。新型コロナウイルス感染予防対策として、密になることを防ぐため二部屋に分かれて実施した。

#### ⑥ 余暇活動

新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、散歩・近隣での買い物・制作・カラオケ・ドライブ・室内スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

### ⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院や、突発的な体調の変化が見られた時は医療機関を受診し、早期治療に努めた。

### (ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医 (精神科医)	毎月1回
協力医 (内科医)	毎月1回
歯科医	毎週火曜日 女性、毎週金曜日 男性
精神科医	毎月2回
鍼灸師	新型コロナウイルス感染症の観点から、令和 3 年度の 受診は中止した。

### (イ)健康診断 (医療機関:千里丘協立診療所・場所:1階社会適応訓練室)

	実施日			内 容	受診人数
	. •	2 1 3 0		身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、 尿検査、問診、心電図 胸部レントゲンは9月14日に実施	28
3	月	3 0	日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、 尿検査、問診	30

### (ウ) インフルエンザ予防接種

協力医(内科)の往診時に、インフルエンザの予防接種を実施した。

### (エ) 医療機関受診状況(延べ人数)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	百亩
内科	14	15	15	12	11	13	13	14	11	15	14	14	161
神経内科	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	10
循環器内科	1				1		2	1		1	1		7
形成外科			5	1	1					1			8
整形外科							1	2	2	2		1	8
歯科	103	63	101	107	65	78	112	87	102	84	67	71	1040

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	ни
精神科	16	14	27	27	26	27	23	26	14	23	26	27	276
泌尿器科				1							1		2
皮膚科	8	4	2	5	6	7	6	4	4	7	3	2	58
肛門科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
便秘専門外来		1		1			1			1			4
睡眠外来		1			1					1			3
耳鼻科	4			2	1	4	1	6	3	3	3	2	29
消化器内科				1			1			1	2		5
婦人科	2	2											4
救急外来	1			2						1	1	1	6
発熱外来	5				1					1		1	8
精神神経			1		1		2		1				5
小児腎不全外来								2			1	1	4
小児心臓外来												1	1
合 計	158	104	155	163	118	133	166	145	140	145	123	125	1675

### ■生活介護(通所)

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、 生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とし た身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス (昼食)、リフト付きワゴン車 (3台) での送迎サービスを実施した。

利用者の障がい特性やご家族の介護状況などを鑑み、感染症対策を講じ開所を続けた。 感染が疑われる方がいた場合、状況に応じて利用者や家族に情報提供した。また、 感染が判明した時は 3 日間休業し、館内の消毒と感染の拡大が認められないことを確認 し開所した。その間、利用者の体調確認や施設の状況報告を行った。

#### ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」を下に、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて、短期間で達成できるより具体的な目標設定による個別支援計画を作成し支援した。

#### ② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、 療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

#### (ア) 個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別の プログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

### (イ) 制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示、飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

#### (ウ) 館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

#### (エ) 散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の 公園へ散歩に出かけた。活動時間が少ない時は、施設前を歩きながら外気浴を実施し た。

#### ③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴(リフト浴、介護浴槽)を使用した。

#### ④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えると共に、自宅での様子を連絡 ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。 また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービスの提供を 行った。

#### ⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、来所時の検温と血圧測定に加え、自宅での体調を 把握できるよう健康チェック表を作成し、毎日検温等の健康チェックをお願いした。 健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、 必要に応じて受診の必要性を説明した。

#### (ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、 希望される方のみ協力医による健康診断を実施した。

実施日	内 容	受診人数
	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、	
9月30日	尿検査、問診、心電図	4
	胸部レントゲンは9月14日に実施	

### (イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフル エンザの予防接種を実施した。

#### (ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染による重症化を予防するため、協力医療機関の 往診時にワクチン接種を実施した。実施にあたっては、利用者や家族に目的を説明し、 書面による承諾を得た。また、看護師指導の下、接種後の健康観察、発熱や体調 不良者への対応を行った。

#### ⑥ 支援学校の体験利用受け入れ

支援学校卒業後、生活介護の利用を希望されている方に対して、支援学校から体験 依頼のあった方 6 名の実習を受け入れ、内 4 名は令和 4 年度 4 月からの利用が 決まった。

#### ⑦ 送迎サービス

通所時に、送迎サービスの利用を希望される方に対し、ドアツードアを基本とし、 自宅までの往復に対してリフト付き送迎車3台で送迎サービスを提供した。

また、ひびきはばたき園と合同運行することにより、より利用者のニーズに合った 送迎サービスが提供できた。合同運行は、感染予防対策を講じながら実施したが、 感染が疑われる場合は合同運行を中止し、その後連絡を密に取りながら早期再開に努 めた。

#### ■合同の取組

#### ① グループ活動

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が階をまたいだ交流を 避けたため、グループ活動は中止した。代替えとして、フロアごとの活動を行った。

#### (ア) おやつ作り

フロアごとに 2 週間おきに実施した。栄養士が利用者の希望を聞きながらおやつを

作り、器や盛り付けを工夫し提供した。

#### (イ) 音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活を目指し、新型コロナウイルスの感染予防を 徹底しながらオンラインを利用して実施した。

#### (ウ) グループ外出

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止し、代替え行事として、オンライン で観光地を巡る『オンラインツアー』を実施した。8月は「沖縄」、2月は「北海道」 のツアーを実施し、昼食やおやつはご当地メニューを提供した。

#### ② 絵画教室

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症により、直接指導を受けることができない ため、利用者が日常生活や活動、行事を楽しく快適に送る為に使用できるみきの路 オリジナルイラストの作成を講師に依頼し、現在も自宅にて作成中である

#### ③ 理学療法

リハビリが必要な方に対し、理学療法士がリハビリを実施した。新型コロナ ウイルス感染拡大の観点から、感染者数が増加しているときはフロアの行き来が できないため、支援員が理学療法士から指導を受けた運動などを実施した。

#### ④ 各種会議

- ・地域生活支援センター全体会議(月1回)・支援(フロア)会議(月1回)
- ・ケース会議(随時)
- ・給食運営会議(3ヶ月1回)
- ・サービス管理責任者会議(月2回)
- · 行事担当者会議(随時)
- ・リスクマネジメント会議(随時)
- ・リーダー会議(月2回)

### ⑤ 災害事故防止対策

福祉避難所として摂津市と契約を結び、地域の障がいのある方が災害にあわれた 際に安心して利用できるよう、非常食の準備、衛生品や日用品、ポータブル電源等の 整備を行った。

#### ⑥ 虐待防止

職員一人ひとりが利用者の人権擁護、虐待防止に努め、その責務を果たせるよう 障害者虐待防止マネジャー研修に参加した。

全体会議で「障害者福祉施設における障害者虐待防止法の理解と対応」の冊子を 用いて施設内研修を実施し、全職員に対して「障害者虐待」についてアンケートを行う など、障害者虐待の理解を深められるよう努めた。

毎月「自己チェックシート」を使って自らの支援を見直し、虐待防止について意識を 高めると共に、法人の理念、経営方針、みきの路の行動規範、事業所理念などを確認し、 支援者、職員としての意識を高められるよう努めた。

### ⑦ 社会参加と地域貢献

地域の一員として、よく利用している嘉円公園のゴミ拾いを利用者と共に行った。 摂津市の人権教育啓発作品展と、ひびきはばたき園の作品展に利用者の作品を出展 して啓発活動に努めた。

校区の三中フェスタは、新型コロナウイルス感染症により中止になったが、摂津高校 和太鼓部による演奏会を、オンラインを使い開催した。

大阪府障がい者スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症により中止になったが、 代わりに、出場予定だったフライングディスク大会を各フロアで実施した。

### ⑧ アフターケア

施設からグループホームに地域移行した利用者に対し、グループホームスタッフが 対応に困った時や、利用者家族から相談があった時は、利用者の状況を確認したうえで アドバイスを行った。

#### ⑨ 苦情解決システム

利用者及び家族、支援者から寄せられた苦情は真摯に受け止め、状況を確認したうえ で丁寧に説明し、検証後の改善策を伝えた。また、市障害福祉課に報告を行った。

#### (3) 定員及び利用状況(令和4年3月31日現在)

### ① 定員及び利用人数

#### (ア) 利用実人数

■施記	2人所:	支援	定員	員 30 名(男性 17 名・女性 13 名)							(人)		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ≅L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
男	14	14	14	15	15	16	16	16	16	17	17	17	187
女	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	159
計	28	28	28	28	28	29	29	29	29	30	30	30	346

### ■生活介護(通所) 契約者数 12 名

合計 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 男 女 計 

# (イ)利用延人数(通所)

(人)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	△≕.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
男	145	126	158	121	122	121	123	122	123	112	89	131	1493
女	101	87	102	94	98	98	91	79	79	68	56	84	1037
計	246	213	260	215	220	219	214	201	202	180	145	215	2530
支援 日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	15	22	239
平均人数	11.7	11.8	11.8	10.8	10.5	11.0	10.2	10.1	10.1	9.5	9.7	9.8	10.6

### ② 利用者の状況

# (ア) 年齢

■施設入所支援

(人)

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	0	3	7	5	2	17
女	0	1	1	3	6	2	13
計	0	1	4	10	11	4	30

■生活介護(通所) (人)

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	1	4	1	1	1	0	8
女	0	0	1	1	0	2	4
計	1	4	2	2	1	2	12

# (イ) 手帳の所持状況

### ■施設入所支援

# 【療育手帳】

(人)

	A	В1	В2	合計
男	17	0	0	17
女	12	1	0	13
計	29	1	0	30

# 【身体障害者手帳】

(人)

	1級	2 級	3 級	4級	5 級	なし	合計
男	2	0	0	0	1	14	17
女	4	4	2	1	0	2	13
計	6	4	2	1	1	16	30

### ■生活介護(通所)

# 【療育手帳】

(人)

	A	В1	В2	なし	合計
男	8	0	0	0	8
女	4	0	0	0	4
計	12	0	0	0	12

# 【身体障害者手帳】

(人)

	1級	2級	3級	4 級	5 級	なし	合計
男	3	1	1	0	0	3	8
女	2	0	0	0	0	2	4
計	5	1	1	0	0	5	12

### (ウ) 障害支援区分

### ■施設入所支援

(人)

	区分6	区分 5	区分 4	合計
男	4	10	3	17
女	9	3	1	13
計	13	13	4	30

### ■生活介護(通所)

(人)

	区分6	区分 5	区分 4	区分3	合計
男	5	3	0	0	8
女	2	1	1	0	4
計	7	4	1	0	12

### (4) 行事

### ① 施設行事

8月5日		男性入所フロア	グループ外出中止による代替
8月19日	バーチャル ツアーin 沖縄	女性入所フロア	え行事
8月30日		通所フロア	各フロアで実施
7月27日	夏祭り	施設入所支援 生活介護 (通所)	納涼会中止による代替え行事
11月16日	摂津高校和太鼓 コンサート	n	各フロアでオンラインと プロジェクターを使って実施
12月13日	クリスマス会	n	n
1月17日	みきリンピック (室内運動会)	"	"
2 月 22 日	バーチャル ツアーin 北海道	"	グループ外出中止による代替 え行事 各フロアで実施

### ② 地域行事

例年参加している大阪府障がい者スポーツ大会 (フライングディスク)、摂津まつり、桜町自治会盆踊り、三中フェスタ、輪い輪い祭り、風船バレーボール大会は、新型コロナウイルス感染症により、中止又は規模を縮小して実施されたため参加していない。

### ③ 法人行事

摂津宥和会運動会及び、つくっ展とかがやけコンサートは、新型コロナウイルス感染症により中止となったが、つくっ展(作品展示のみ)を摂津市役所で規模を縮小して開催したため、利用者の合同作品を出展した。

### (5) 防災

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第 1 回目	9月28日、9月29日
第 2 回目	3月29日、3月30日

### ② 利用者参加のもと、避難訓練を3回実施した。

第 1 回目	9月8日(通報、避難訓練)
第 2 回目	1月12日(夜間・震度6弱の地震)
第 3 回目	3月7日(避難、消火訓練)

### ③ AED使用法の講習

新型コロナウイルス感染症により、摂津市消防本部による例年通りの講習は実施できなかったが、摂津市消防本部から救急法の DVD を一週間借用し、視聴による研修を実施した。

### ④ 防犯訓練

新型コロナウイルス感染症により、摂津警察署による例年通りの講習は実施できなかったが、摂津警察署から防犯の DVD を借用し、視聴による研修を実施した。

#### (6) 実習生の受け入れ

実習依頼のあった大阪成蹊短期大学と事前に感染予防と健康管理について打ち合わせを行い、実習2週間前から健康チェックをお願いし、生活介護(通所)での実習を2名受け入れた。

### (7) 支援学校進路説明会

支援学校の進路説明会は、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら参加した。 また、支援学校から依頼のあった事業所説明会用資料の作成を行い、その資料にはQR コードを貼り付けて、簡易に施設のホームページが観られるよう工夫した。

### (8) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加を 積極的に行っているが、新型コロナウイルス感染予防のため、複数の研修が中止又は、 オンライン研修となった。また、施設内研修で講師を招いて感染症対策の研修を行う 予定であったが延期した。

実施日	研 修 名	場所	主催	職種
4月14日	新入職員の為のサ ービスマナーセミ ナー	オンライン	大阪府社会福祉協議会	支援員
5 月 13 日         5 月 14 日         6 月 7 日	第一回福祉職員研修 OJT リーダー養成	n	"	主任
5月20日	令和3年度スーパ ーバイザー養成基 礎研修	n	"	支援員
6 月 22 日 7 月 1 日	令和3年度広報研修会(情報発信編)	"	"	支援員
6 月 8 日 7 月 27 日 11 月 17 日	令和 3 年度障がい 者施設課程(通所 コース)	n	"	支援員
8 月 6 日	感染症・食中毒予 防対策講習会	動画視聴	大阪府地域福祉推進財団	栄養士
9月17日~9月24日	令和 3 年度障がい 者施設課程(主任 クラス)	Web による講義視聴	大阪府社会福祉協議会	支援員
11 月 19 日	令和 3 年度相談支援従事者初任者研修	Web による講義視聴	大阪府社会福祉事業団	支援員
12 月 24 日	令和 3 年度強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	たかつガーデン	大阪府立砂川厚生 福祉センター	支援員
1月24日~2月25日	障がい児者施設及 び成人施設課程 (テーマ別)研修 会	オンライン	大阪府社会福祉協議会	支援員

実施日	研 修 名	場所	主催	職種
1 月 24 日 ~2 月 25 日	令和 3 年度障害者 虐待防止マネジャ ー研修	Web による講義視聴	全国社会福祉協議会	全職員対象
1月26日	令和 3 年度大阪府 サービス管理責任 者等 (更新研修)	大阪府社会福祉会館	ファイン財団	サービ ス管理 責任者
2 月 8 日	令和 3 年度大阪府 サービス管理責任 者等 (更新研修)	大阪府社会福祉会館	ファイン財団	サービ ス管理 責任者
2 月 15 日	令和 3 年度大阪府 サービス管理責任 者等 (更新研修)	"	"	11

### 2 短期入所 定員5名(男性2名・女性3名)

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談 支援事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援 の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、短期入所利用者には第一回目の緊急事態宣言 発出後に利用の自粛をお願いしたが、緊急的に利用が必要な方については、利用前の 利用者やご家族、身近な方の健康状態を確認したうえで受け入れた。

### (1)利用延人数

【成人】 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	△⇒
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
男	30	69	60	57	24	0	0	0	23	33	11	0	307
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
計	30	69	60	57	24	0	0	0	23	33	11	4	311

【児童】 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	口間
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 3 日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難になった方に対し、 日帰りでのサービスを提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用の自粛をお願いしていたが、ご家族の 状況や利用者の障がい特性から、利用の相談があった方については、利用前の利用者や 家族、身近な方の健康状態を確認したうえで受け入れを行った。

### (1) 利用延人数

【成人	J												(人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	△≕
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
男	21	18	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	21	19	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61

【児童	【児童】												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	口間
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和 3 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保 (1床)」の覚書を締結した。

### Ⅱ 共同生活援助 (グループホーム) 短期入所(ショートステイ)

#### (1) 概況

令和3年3月に開所した地域生活支援センターヒマワリは地域生活支援拠点等事業の 『緊急時の受入・対応』『体験利用の場の確保・提供』を担う事業所として、摂津市及び 大阪府への登録を行った。

引き続き地域生活支援拠点等事業コーディネーターを管理者が兼務し、拠点等事業の 重点項目である地域の体制作り、専門性の確保を実現させる為、摂津市障害者地域自立支 援協議会相談支援部会及び地域移行部会に参加し、地域課題や実情の把握に努め、関係機 関との連携強化に努めた。

具体的には、相談支援部会内のワーキングに参加し、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる障がい児者に必要な支援・配慮についての協議を行い、抽出された課題、意見を行政に報告した。

市内の短期入所事業所および、共同生活援助事業所向けに地域生活支援拠点等事業の 説明会を行った。拠点等事業の趣旨を説明し、面的整備を担う事業所として賛同した 事業所には摂津市および大阪府への登録を進めた。

運営面では、世話人全体会議は新型コロナウイルス感染症予防で開催頻度を減らしたが、各ホーム人数を限定した世話人会議、必要に応じた世話人個別面談を行った。併せて可能な限り外部研修には参加し、支援スキルや知識の向上、法制度の周知を図った。

新規利用者の見学や体験利用の受入を行うとともに、利用者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障がいのある人も地域で当たり前に暮らす共生社会づくりを目指して、取り組みを行った。結果として、1 名の利用者が一人暮らしに移行した。サルビアにて体験利用を続けていた利用者 1 名が本入居となり、コスモスに 2 床、サクラに1床それぞれあった空床には体験利用者を受け入れ中で、本入居に向けた協議を重ねている。

短期入所について、今年度の稼働実績は予測値よりも大幅に低かった。理由としては、 コロナ禍で利用予約のキャンセルが多かった事や強度行動障がい等、単独で個別対応が 必要な利用者との契約が多かった事が挙げられる。

今年度も契約利用者数を増やすため、相談支援事業所や支援学校とも連携を図る事に加えて、市内の短期入所事業所と空き情報の共有を図り、空床の解消に努めていきたい。

新型コロナウイルス感染対策については、かかりつけ医による利用者への 3 回目のワクチン接種を進めながら、大阪府看護協会の訪問指導による感染防御製品の取り扱い、感染防止対策、感染者及びクラスター対応等、具体的かつ効果的な研修を実施して感染防止の徹底を図った。濃厚接触者の疑いがある場合については、市障害福祉課、保健所、医療機関との連携を密に取り、利用者同士の接触制限を行い、感染防御製品の活用等、感染防止マニュアルに従いながら拡大防止に努めた。PCR 検査についても、積極的に受検して、クラスター発生防止に努め、感染が疑われた時点で、利用者の通う事業所や会社、

相談支援事業所等と連絡を取り合い、情報共有を図りながら感染拡大の防止に努めた。 PCR 検査が円滑に受ける事が困難な状況になっており、抗原検査キットを購入し、体調 に異変がある利用者、職員にも積極的に使用し、感染拡大防止に努めた。

# (2) 定員及び利用状況(延べ利用者数)

# ◎サルビア (利用定員 10 名 女性)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	소리
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
入居日数	263	278	274	285	275	281	271	279	281	281	257	288	3,313
入院	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	14
1日平均	8.8	9.0	9.1	9.2	8.9	9.4	8.5	9.3	9.1	9.1	9.2	9.3	9.1

# ◎ガーベラ(利用定員5名 女性)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ≅L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
入居日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
1日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

# ◎オリーブ (利用定員5名 女性)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Λ ≓1.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
入居日数	150	155	150	155	155	150	155	150	153	150	140	155	1,818
1日平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0

# ◎コスモス(利用定員4名 男性)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ ≅L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
入居日数	90	93	90	93	93	90	93	90	93	86	56	73	1,040
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	41	61
1日平均	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.5	3.3	3.0

# ◎サクラ (利用定員男性 4 名 女性 2 名)

7 9 11 12 3 8 10 1 合計 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 120 | 124 入居日数 120 124 124 120 143 142 127 134 121 140 1,539 体験利用 2 0 0 14 0 22 10 18 0 0 5 12 83 1 日平均 4.1 4.0 4.0 4.5 4.7 4.1 4.5 4.8 5.2 4.3 4.6 4.6 4.5

# ◎ヒマワリ(利用定員男性8名 女性2名)

(人)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	스라
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
入居日数	260	259	274	269	256	265	280	267	270	261	250	270	3,181
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	8.7	8.3	9.1	8.7	8.3	8.8	9.0	8.9	8.7	8.4	8.6	8.7	8.7

### ◎ショートステイヒマワリ(定員5名)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ≞ι.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
男性(者)	0	0	4	14	18	17	19	21	24	12	10	11	150
緊急 (男者)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	6
女性(者)	0	0	0	4	6	2	4	2	3	6	4	10	41
緊急 (女者)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
男性(児)	0	0	1	5	0	0	8	0	8	2	4	2	30
緊急 (男児)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
女性(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4	2	4	22
緊急(男児)	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
合計	0	0	5	23	27	25	35	23	47	26	20	27	258

# (3) 入居者の状況(令和4年3月31日現在)

(単位:人)

# ◎サルビア

### ■年齢構成

20代	30代	40代	50代	60代	合計
1	2	3	3	1	10

### ■障害支援区分

区分3	区分 4	区分 5
3	5	2

# ■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳 B 1
8	2

# ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型
8	2

# ◎ガーベラ

# ■年齢構成

40代	50代	60代	合計
1	2	1	4

# ■障害支援区分

区分3	区分 4	区分 5
1	2	1

# ■手帳所持状況

療育手帳A	帳 A 療育手帳 B 1 精神保健福祉手帳	
1	2	1

# ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型
3	1

# ◎オリーブ

# ■年齢構成

20代	40代	50代	合計
3	1	1	5

# ■障害支援区分

区分 1	区分 2	区分 3	区分4
1	2	1	1

# ■手帳所持状況

療育手帳 B 1	療育手帳B2
2	3

# ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型	就労
1	2	2

# ◎コスモス

# ■年齢構成

40代	50代	合計
2	2	4

# ■障害支援区分

区分 3	区分 5
2	2

# ■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳B2
2	2

# ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型	就労
2	1	1

#### ◎サクラ

### ■年齢構成

20代	40 代	50代	60代	合計
3	1	1	1	6

### ■障害支援区分

区分 3	区分 4
5	1

### ■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳 B2	精神保健福祉手帳2級	身体障害者手帳2級
3	1	1	1

### ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型	就労	所属無し
2	2	1	1

### ◎ヒマワリ

### ■年齢構成

20代	30代	50代	合計
4	5	1	10

### ■障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5	区分6
1	2	5	2

### ■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B1
9	1

### ■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型
9	1

### (4) 支援の状況

利用者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用した。土日祝日に関しては、コロナ禍で移動支援を利用した外出を控えて頂いたが、ホームでも余暇を楽しめるように、デリバリーでの食事提供や週替わりのスイーツの提供、感染予防を徹底して職員との近隣散歩などを実施し、余暇の充実を図った。

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとも引き続き連携を深め、会社訪問の機会も 設定した。職場内での悩みを抱える利用者には面談の時間を多く設けて、今後の見通しや 将来のビジョンを丁寧に聞き取りながら支援を行った。

コロナ禍で在宅勤務となっていたサクラの利用者 1 名が、在宅勤務が終了となっても コロナに対する不安が強く外出出来ない状況となった。以前に利用していた就労移行 支援事業所や相談支援事業所、主治医との連携を図り、現在では外には出られるように なったが、仕事や日中活動に参加する事には不安が残っており、日中活動の所属無しの状態となっている。

食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよく 噛み、味わって食するように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供など、 利用者の障がい特性の変化に柔軟に対応すべく、主治医との意見交換も積極的に行った。

家族の高齢化が顕著で、外泊出来ない利用者は年々増えている。ゴールデンウィーク、 お盆、正月などの長期の休日については、日中活動の場も休みである事から、各ホームに おいては季節に応じたイベントを行うなど楽しみの提供を積極的に行った。

開所 1 年目のヒマワリでは家族と支援者との意見交換会を設け、支援内容に家族の 意見や目線を取り入れ、支援の方向性を確立するための材料とした。

### (5) 個別支援計画

利用者それぞれの多様なニーズに対応するために、6ヶ月に1回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

利用者の意思表示を引き出しやすくする工夫や、ご家族の意見を聞き取る時間も設け、 利用者を中心に関わりのある支援者の意見を反映させるように努めた。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者 会議で利用者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

#### (6)健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや利用者の様子等の把握に努めた。サービス管理 責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。 健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診(各種

健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診(各種がん検診)や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される利用者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。歯科通院については、昨年度サルビアの利用者に訪問歯科診療を導入した事をきっかけとして、今年度はヒマワリにも訪問歯科診療を導入した。

ヒマワリの利用者は歯科通院が困難な方が多く、住み慣れた環境での歯科治療、口腔内チェックが可能となった。リラックスした状況で実施出来る事で、ご家族からも好評価を得ている。次年度、コスモスとサクラにも導入予定で検討している。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認、配薬チェック表の利用、口腔内の残薬確認の徹底を行った。

生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続するために、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

ヒマワリに関しては、毎食の配食サービスを必要とする観点から、株式会社ヨシケイの 配食を継続し、栄養管理と支援に費やす時間の確保を行った。 全ホームにAEDを設置し、玄関前にAED設置のステッカーを貼り、近隣住民からの 要請に貸し出しを行う取り組みを行い、社会貢献、地域貢献の意識を高めた。

# ■医療機関受診・往診状況

◎サルビア (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ ⊒L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
内科	2	1	2	6	9	3	3	8	2	1	4	6	47
精神科	3	3	4	3	4	6	4	5	4	4	2	4	46
婦人科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
皮膚科	2	5	9	5	3	4	5	2	5	3	5	2	50
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
歯科	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
訪問歯科	32	24	37	24	20	17	14	15	15	17	17	23	255
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合 計	43	38	57	42	41	35	30	35	34	30	34	41	460

◎ガーベラ (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	口間
内科	3	3	3	6	5	4	5	3	4	4	5	5	50
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4
精神科	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	2	1	20
眼科	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
皮膚科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
形成外科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
歯科	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	3	3	12
訪問看護	9	10	9	10	9	9	10	10	9	8	9	8	110
訪問リハ	9	10	9	10	9	9	10	10	9	8	9	8	110
合 計	22	28	24	29	25	27	28	27	25	24	29	25	313

◎オリーブ (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ <b>Ξ</b> L.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
内科	0	0	0	5	5	0	6	0	0	2	0	5	23
整形外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	1	1	1	1	3	1	0	1	1	2	2	2	16
婦人科	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	4
泌尿器科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脳神経内科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
皮膚科	1	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	8
合 計	2	2	3	10	8	2	9	3	3	4	2	8	56

◎コスモス (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ≢L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
内科	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	4
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
精神科	0	2	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	9
合 計	0	2	1	1	2	1	1	1	4	1	1	2	17

◎サクラ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ≅L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
内科	3	0	3	4	8	6	2	4	1	2	3	2	38
耳鼻科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
婦人科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
歯科	1	2	1	3	2	2	1	3	1	0	1	3	20
合 計	6	2	5	7	11	8	5	7	3	3	6	5	68

◎ヒマワリ (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Λ ≓1.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
内科	1	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	8
精神科	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
皮膚科	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	1	1	9
小児科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問歯科	0	18	16	14	12	11	14	17	14	12	14	14	156
合 計	2	23	17	16	13	12	18	20	16	15	16	17	185

#### (7) 日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での 情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び 必要に応じ随時、ケース会議を開催した。

ヒマワリについては、開所後 1 年の節目を迎えるにあたり、サービス担当者会議や 各事業所間での情報共有を定期的に行った。

#### (8) レクリエーション・行事

今年度はコロナ禍で、地域や各種団体の活動には参加出来なかった。コロナ禍において、 感染予防を徹底しながら、移動支援の利用を継続させるための工夫を話し合い、利用者の 余暇の過ごし方に少しでも潤いを持たせる事が出来るように配慮した。

各ホームで行っていた誕生会や季節のイベントは感染予防の観点から、最小限に留めて実施した。

生活のめりはりや楽しみの提供として、毎週 1 回、週替わりで食後のスイーツを職員が配達したり、季節イベントの時期にはデリバリーで食事を注文するなどの取り組みを行った。

### (9) 災害対策·防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険個所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。全ホームの「洪水時の避難確保計画」を作成し、全職員が閲覧出来るように掲示し、日頃の外出や散歩の際にも利用者にも説明を行う事を徹底した。災害時の安否確認や迅速な情報伝達の手段として新規採用の職員にも、セコム安否確認サービスの登録を完了させた。

ヒマワリの館外 3 か所に防犯カメラを設置し、ホームの防犯目的はもちろん、近隣の 防犯にも役立つように、道路や公園も映る角度で設置を行った。 ヒマワリにおいては、消防法区分で避難訓練が義務付けられており、年 2 回の避難訓練を実施した。

夜間支援も継続して行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応 に備えた。

### (10)職員研修等

今年度はコロナ禍で外部研修も自粛されたケースが多く、例年よりは研修参加の回数 は減った。オンラインでの研修会や、感染予防を徹底した研修会には参加した。

例年は世話人会議でその伝達研修を行っていたが、世話人会議の回数も減らした事で、 伝達研修も実施出来なかったが、研修報告書の回覧で周知を図った。

### ◎研修会・会議・部会等

実施日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
6月3日	障がい等福祉従事者研修 (世話人研修)	大阪社会福祉指導センター	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	世話人
6月23日 ~30日	大阪府相談支援従事者初任者研修(2日課程)	オンライン動画 視聴	社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団	支援員
10月7日 ~13日	大阪府サービス管理 責任者等基礎研修	"	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
10月18日	安全運転管理者講習	メイシアター	一般財団法人 大阪府交通安全協会	管理者
10月19日	大阪府社会福祉施設等 感染症予防強化事業	現地訪問型研修にて 地域生活支援センター ヒマワリ	大阪府	管理者 支援員
10月28日29日	大阪府サービス管理 責任者等基礎研修	大阪府 社会福祉会館	一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	支援員
11月10日	個人情報保護研修会	オンライン動画 視聴	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	支援員
1月24日~ 2月25日	障 害 者 虐 待 防 止 マネジャー研修	"	社会福祉法人 全国社会福祉協議会	サビ管
3月12日	大阪府重度知的障がい者 地域生活支援体制整備事業 実践報告会	オンライン	大阪府知的障害者福祉協会	サビ管

# ◎摂津市内グループホーム連絡会年4回開催予定であったが、今年度はコロナ禍で全て中止

# ◎ホーム別世話人会議

(人)

実施日	ホーム名	場所	参加人数
4月2日	ヒマワリ	ヒマワリ	11
5月7日	ヒマワリ	ヒマワリ	11
5月25日	サルビア	サルビア	14
6月16日	ヒマワリ	ヒマワリ	8
9月2日	サルビア	サルビア	13
11月11日	サルビア	サルビア	13

# ◎世話人全体会議

(人)

実施日	場所	参加人数
12月23日	ヒマワリ	11

# (11) 各種会議

# ◎摂津市自立支援協議会相談支援部会

実施日	場所	参加者
	摂津市障害者総合支援センター	
毎月第2水曜日	新型コロナウイル感染状況に	管理者
	合わせて web 開催もあり	

# ◎摂津市自立支援協議会相談支援部会

新型コロナワクチン接種にかかる必要な支援・配慮についての会議

実施日	場所	参加者
6月2日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
6月16日	n	11
6月30日	n	11
7月8日	n	11
7月21日	n	11

# (12) 社会貢献事業

### ◎大阪しあわせネットワーク支援状況

コロナ禍で失業し生活困窮に陥ったネパール国籍の男性。再就職先が決まったが、給与が 入るまでの経済的支援および健康観察を行った。

実施日	支援内容	場所・訪問先	参加者
7月26日	初回相談受付	摂津市役所	管理者
7月29日	本人面談	摂津市役所	"
1 月 29 日	社会貢献基金申請	按律师权///	//
8月6日	買い物支援	コノミヤ摂津市駅前店	"
8月13日	買い物支援	"	"
0月13日	体調確認	"	//
8月17日	近況の情報共有	摂津市役所 担当ワーカーと電話	"
8月19日	買い物支援	コノミヤ摂津市駅前店	"
8月25日	買い物支援	"	"
0月25日	支払請求書等確認	"	//
8月26日	近況の情報共有	摂津市役所 担当ワーカーと電話	"
9月2日	買い物支援	コノミヤ摂津市駅前店	"
9月7日	買い物支援	"	<i>11</i>
9月1日	体調確認	"	//
9月10日	通院同行者手配	大阪府社協担当者と電話	"
9月13日	近況の情報共有	摂津市役所 担当ワーカーと電話	"
0 H 15 H	買い物支援	コノミヤ摂津市駅前店	1)
9月15日	支援終結確認	コノミで採件印刷的店	"

### ◎こども食堂

新型コロナウイルス感染症を考慮し、今年度は実施せず。

### (13) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大阪府及び摂津市の通知にならい、今年度も不要不急の外出(外泊)と面会の自粛を利用者と家族に通知した。

障がい特性上及びやむを得ない理由で外出(外泊)を希望される利用者と家族の個別の 相談には応じ、健康観察と行動履歴の記録、家庭での感染予防の徹底をお願いした。

通所、通勤などで外出する際にはマスク着用の徹底を促し、公共交通機関を利用して 通勤する利用者には携帯用手指消毒剤を提供し、予防の意識を持つように促しを行った。

手指消毒剤は全ホームの玄関にも設置し、帰所時の手指消毒の徹底とうがいの励行を促し、世話人によるホーム内の共用部分の消毒も徹底した。二酸化炭素濃度測定器を全ホームに配布し、「密」の回避と換気の目安になるように共用部に設置した。

足踏み式消毒剤も全ホームに配布し、より一層の感染予防の徹底を図った。

職員にも出勤前に自宅での検温を義務付け、37.5℃以上の場合は出勤不可とした。

利用者にも朝・夕最低 2 回の検温を実施し、鼻水、鼻づまり、咽頭痛、頭痛、下痢、吐き気をチェック項目に加え、昨年度よりも手厚く体調管理を行った。

大阪府社会福祉施設等感染症予防強化事業を利用し、大阪府看護協会に感染予防認定 看護師2名の派遣を依頼し、ヒマワリにて訪問型での感染症予防研修を受講した。

そのアドバイスを基に防護ガウンやフェイスシールド等を着用した日常業務・介護 訓練を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大が顕著な中、利用者が陽性者および濃厚接触者として 特定されたケースもあった。厚生労働省通知及びみきの路と共同で作成したクラスター 対策マニュアルに従ってゾーニングや消毒・健康管理の強化などの対応に当たった。

結果としては、感染者の拡大は無く罹患者を最小限に留める事が出来た。

### (14) 地域生活支援拠点等事業活動報告

#### 【事業内容】

①相談 ②緊急時の受入・対応 ③体験利用の機会・場所の提供 ④専門的人材の確保・養成⑤地域の体制作り 以上5点が重点項目となり、重点項目の総合調整を図るため、地域生活支援拠点等には地域生活支援コーディネーター(以下「コーディネーター」と表記)を置く。

コーディネーターは前記の業務に支障が無い範囲で他の職を兼ねる事が出来るとなって おり、管理者が兼務した。以下が活動内容報告

#### ◎活動内容

	日時	場所	種別	内容
1	4/7 (水) 10:00~11:00	ヒマワリ	15	相談支援部会リモートテスト会議
2	4/14 (水) 10:00~12:00	"	"	相談支援部会
3	5/12 (水) 10:00~11:30	"	11	相談支援部会
4	5/13 (木) 10:00~11:30	ウイング	全般	基幹相談支援センターと拠点等事業実施に 向けた打ち合わせ
5	5/25 (火) 9:30~10:30	"	"	基幹相談支援センターと拠点等事業の具体的 な実施内容についての打ち合わせ
6	6/2 (水) 13:30~15:00	11	(5)	相談支援部会内の障がい児者の新型コロナ ワクチン接種に必要な支援・配慮の会議
7	6/9 (水) 10:00~12:00	ヒマワリ	15	相談支援部会
8	6/14 (月) 10:00~12:00	ウイング	(5)	新型コロナ感染者発生時の情報共有対応策 検討ワーキング

	日時	場所	種別	内 容
9	6/16 (水) 13:00~14:30	ウイング	(5)	相談支援部会内の障がい児者の新型コロナ ワクチン接種に必要な支援・配慮の会議
10	6/23 (水) 15:00~16:30	摂津市役所	全般	基幹相談支援センター・障害福祉課との拠点 等事業実施内容についての打ち合わせ
11	6/28 (月) 10:00~11:00	ウイング	15	新型コロナ感染者発生時の情報共有対応策 検討ワーキング
12	6/30 (水) 10:00~12:00	"	5	相談支援部会内の障がい児者の新型コロナ ワクチン接種に必要な支援・配慮の会議
13	7/6 (火) 13:30~15:00	市地域福祉活動 支援センター	全般	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会議
14	7/14 (水) 10:00~12:00	ウイング	15	相談支援部会
15	7/21 (水) 10:00~11:00	"	11	相談支援部会内の障がい児者の新型コロナ ワクチン接種に必要な支援・配慮の会議
16	8/11 (水) 10:00~11:30	"	11	相談支援部会
17	9/1 (水) 15:00~16:00	ヒマワリ	2	緊急ショートステイ(障がい児童)受け入れ 調整・面談と相談支援事業所からの引き継ぎ
18	9/2 (木) 17:00~	11	11	緊急ショートステイ(障がい児童)受け入れ 及び支援スタッフへの引き継ぎ
19	9/8 (水) 10:00~11:00	ウイング	15	相談支援部会
20	10/21 (木) 13:30~17:15	ヒマワリ	2	緊急ショートステイ受け入れ調整。相談支援・ 通所先・市内短期入所事業所への連絡・相談。
21	10/22 (金) 16:50~	"	2	緊急ショートステイ受け入れ
22	11/10 (水) 9:30~12:00	"	全般	相談支援部会 拠点等事業説明会
23	11/11 (木) 10:00~11:30	"	2	拠点等事業 緊急受入に係る短期入所事業所 への説明会
24	12/8 (水) 10:00~11:30	"	15	相談支援部会
25	12/6 (月) 13:00~13:30	みきの路	3	グループホーム事業所と体験利用受け入れに ついての調整
26	12/10 (金) 10:00~11:15	摂津市役所	3	拠点等事業 体験利用に係るグループホーム 事業所への説明会
27	12/20 (月) 9:30~10:00	みきの路	3	グループホーム事業所と体験利用受け入れに ついての調整
28	1/12 (水) 10:00~11:30	11	15	相談支援部会
29	1/21 (金) 13:00~15:00	摂津市役所	全般	大阪府地域生活支援拠点等意見交換会
30	2/9 (水) 10:00~11:30	ヒマワリ	15	相談支援部会
31	3/9 (水) 10:00~11:30	1)	11	相談支援部会

	日時	場所	種別	内容
32	3/14 (月) 9:00~9:30	みきの路	3	グループホーム事業所と体験利用受け入れに ついての調整
33	3/28 (月) 14:00~15:00	"	2	緊急ショートステイ受け入れ調整。受入先へ の引き継ぎとご自宅へ荷物の受け取り。

# まとめ (延べ件数)

(件)

種 別	回 数
①相談	1 3
②緊急時の受入・対応	6
③体験利用の機会・場所の提供	4
④専門的人材の確保・養成	0
⑤地域の体制作り	1 7
全般(会議など)	6

# 3 摂津市立児童発達支援センター

# I 児童発達支援センター「つくし園 |

### (1) 概況

つくし園は、発達に課題のある就学前の児童を対象にきめ細やかな支援を行う『児童発達支援』、障がい特性へのきめ細かい配慮を行い、生活全般をトータルに見据え相談を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活をより豊かに過ごすことができる様に専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』を行い、児童発達支援センターの指定要件を満たしている。

障がい種別を問わない就学前の児童の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを 主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保 護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りを大切にして取 り組を行った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える 10名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象校区 の小学校及び支援学校の保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決 定に繋げた。

障害児相談支援については、発達に課題のある児童を対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い実施しているが、年々増加する相談件数への対応として、保護者に不安を与えず、今まで通りのサービスの提供を継続出来る事を主眼に置き、市子育て支援課との協議により、当センターのみの利用児に対し「セルフプラン」を導入し、3月末には更新手続きを行った。今後も保護者ニーズを探りながら見直し、市子育て支援課とも協議、検討を行います。

#### (2)療育の状況

発達に課題がある児童について個々の特性や発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

- ① クラス編成は単独通園 2 クラスと親子通園 1 クラスとし、年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を立て療育を行った。親子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを親子ともに持ちやすいよう、親子分離の機会を設けると共に、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取組みを行った。
- ② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立を目的とし、個々に応じた援助を行い 獲得に向けて取り組んだ。その中で生活リズムが整う様に援助した。
- ③ あそびや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し 発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行

った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により 課題別にグループ編成をするなどし、ひとり一人が集団の中で自分の力を発揮できる 様な環境作りに力を注いだ。

保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、多職種で連携を図り日々の保育を 行った。

④ 行事 (人)

実施日	行事名	場所	参加者(人)	内 容
5月16日	日曜参観	園内	中止	
7月6日	七夕まつり	11	園 児19保護者等5	季節の行事として経験の拡大を 図った。
7月9日	夏まつり	"	園児 21 保護者等 17	季節の行事として、園内をおまつり会場とし、保護者と共に楽しんだ。
10月5日	遠 足 (単独クラス)	深北緑地	園児 14	単独通園クラスの在籍園児の集 団としての活動を楽しみ、経験拡 大を図った。
10月14日15日	遠足(親子クラス)	佐井寺南 が丘公園	園 児4保護者等6園 児6保護者等6	親子通園クラスの在籍園児の集 団としての活動で、親子で楽しんだ。
11月6日	運動会	鳥飼 小学校	園 児 21 保護者等 55	保育の運動面の取り組みについ て保護者と成長や課題を確認す る機会とした。
12月9日	クリスマス会	園内	園 児     12       保護者等     10       園 児     9       保護者等     10	しんだ。
2月12日	生活発表会	"	中止	
3月9日	お楽しみ会(単独クラス)	さつき 公園	園 児 11 保護者 11	1年の締めくくりとして、公園に 出かけ、園でお弁当を食べ園児が 楽しむ機会とした。
3月17日	卒園式 修了式	園内	園 児14保護者等26	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して

実施する行事・家族参加の行事に分類されているが、令和3年度は新型コロナウィルス 感染症対策により、行事の中止、内容の変更等、その時の状況に応じて実施した。

# ⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に 共通の認識を持ち、わが子の理解を深め、家庭での育児力を育むことに取り組んだ

	わか于の理解を深め、家庭での自児力を自むことに取り組んだ T
項目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後、感染症の状
30.0001円	況を踏まえ保護者確認のもと実施した。
	各担当者が保護者との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助
	について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組ん
個別面談	だ。進路については、保護者の気持ちも大切にし、ともに悩み考え、
	わが子の理解にもつながるよう援助し、保護者自身で決定出来る様寄
	り添った。(年2回、その他随時)
	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。
カニュ西沙	保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の悩みを話
クラス面談	すなどの機会とし、ともに子育てをする仲間としての関係作りにもつ
	なげた。
2.老帝敦	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて両親が参加し
3者面談	やすい日曜日・行事後に面談を実施した。 (随時)
	全園児、全保護者を対象とした取組みを行う。2クラス合同で行うこ
人口知フル玄	とによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施
合同親子保育	していたが、令和3年度は新型コロナウィルス感染症の影響により実
	施せず。
	単独通園クラスを対象とし、保護者も保育に参加してもらう中で、児
出独力与力	の成長をともに確認したり喜び合ったり、家庭との様子の違いや家庭
単独クラス	での困りごと等についての情報交換を行い、園と家庭の役割・協力体
親子保育	制を整えることを目的として実施している。
	※令和3年度は感染症の状況を見ながら、分散での実施となった。
	参観は、給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観等を年度当初
<b>归去</b> 条组	計画していたが、計画通りに実施することは難しかった。保護者が園で
保育参観	の子どもの様子を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時
	受け入れを行った。
	日々の園と家庭での子どもの生活状況(食事・睡眠・健康状態)などの
	伝達の手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・
連絡ノート	悩みを聞き、思いを共有したうえで、園での取り組みを伝える等子育て
	に対するアドバイスを行い、保護者の育児力を育むと共に育児負担の
	軽減に努めた。 (毎日)

E N L D	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより(献立表)
園だより	連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

#### \*母親教室

子どもの発達に関する学習や講習による技術習得をすることにより、保護者の負担を 軽減し、子育てに精神的なゆとりを持つことが大切と考え、年5回児童発達支援センター 職員である訓練士、心理士等より例年は保護者対象に講話を行っていたが、令和3年度 は新型コロナウィルス感染症対策により実施せず。

### ⑥ 進路指導

就学については、市教育支援課主事による摂津市における就学指導の説明、大阪府立摂 津支援学校小学部主事に学校説明会の依頼を行い、当園にて年長児対象に「就学説明会」 を実施した。

また、年長児の校区にあたる小学校に当園の就学指導の取り組みや、見学・体験入学の 主旨、園児の状況等を伝え、理解を深めた。そのうえで見学・体験入学実施を依頼し、職 員が付き添った。そのことを通し保護者が進路先について充分な理解と検討を行った上 で、進路決定をし、教育支援会議を迎えることが出来る様援助した。

就園(幼稚園、保育所)については、職員による進路説明会を行い、幼稚園・保育所に 対する理解、進路選択の手順についての説明を行った。そのうえで、保護者自身による見 学・相談に繋げ、随時個人面談等で相談に応じた。

(保護者懇談会) (人)

実施日	内 容	保護者
6月29日	幼保進路説明会(市子ども教育課 参事)	6
7月5日	就学説明会 市教育センター主事 大阪府立摂津支援学校主事	8

# (小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
4月30日	摂津市立味生小学校	取組説明	2
5月11日	摂津市立摂津小学校	11	3
5月13日	摂津市立鳥飼小学校	11	1
5月19日	摂津市立味生小学校	見学	2
5月24日	摂津市立味舌小学校	取組説明	1
5月31日	摂津市立摂津小学校	見学	3

摂津市立味舌小学校	見学	1
摂津市立摂津小学校	11	2
摂津市立千里丘小学校	11	1
大阪府立摂津支援学校	11	6
摂津市就学相談	相談	8
大阪府立茨木支援学校	見学会	2
摂津市教育支援課	見学	10
茨木支援学校	相談	1
摂津市立鳥飼小学校	体験	1
摂津市立味生小学校	11	1
摂津市立摂津小学校	11	2
摂津市立摂津小学校	"	1
大阪府立茨木支援学校	11	3
摂津市 教育支援会議	検討会議	8
	摂津市立摂津小学校  摂津市立千里丘小学校  大阪府立摂津支援学校  摂津市就学相談  大阪府立茨木支援学校  摂津市教育支援課  茨木支援学校  摂津市立鳥飼小学校  摂津市立県津小学校  摂津市立摂津小学校  摂津市立摂津小学校  大阪府立茨木支援学校	摂津市立摂津小学校       パ         摂津市立千里丘小学校       パ         大阪府立摂津支援学校       相談         摂津市就学相談       見学会         摂津市教育支援課       見学         茨木支援学校       相談         摂津市立鳥飼小学校       体験         摂津市立現津小学校       パ         摂津市立摂津小学校       パ         大阪府立茨木支援学校       パ

### (3)健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に感染症対策には細心の注意を払い、手洗い・手指消毒等の対応をした。また、体調の変化には細心の注意をはらった。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

### ①内科医健診

htt. SA EI	10 日 07 日
健診日	10月26日

※新型コロナ感染症の影響により、健診日程が 例年より遅くなっている。

# ②その他健診、検査

健診日	内 容
5月25日	歯科検診
7月30日	耳鼻科健診
11月18日	尿検査

### (4)給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに

適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。 給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理 の充実にも努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・ 栄養士で給食会議を実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給 食提供をした。また可能な範囲で食物アレルギーのある子への除去食の提供を行った。 家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

## (5) 通園児の状況

# ① 通園状況(延べ人数)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	△≕
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
親子クラス 園児数	50	56	54	69	59	72	96	96	59	69	66	82	828
単独クラス 園児数	208	200	213	211	182	214	241	224	234	215	155	295	2592
園児数計	258	256	267	280	241	286	337	320	293	284	221	377	3420

# ③ 年齢別(令和3年4月1日の年齢)

(人)

年齢	2 歳	3才	4才	5才	合計
男	5	6	5	8	24
女	1	0	1	3	5
計	6	6	6	11	29

### ③ 障がいの状況 (原疾患・合併症・診断名)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	24	1	10
女	5	0	1
計	29	1	11

# ④ 療育手帳の所持

(人)

(人)

区分	A	В1	В2	所持無	合計
男	6	4	2	12	24
女	3	1	1	0	5
計	9	5	3	12	29

# ⑤ 身障手帳の所持

(人)

区分	1級	2級	3 級	合計
男	1	0	0	1
女	1	0	1	2
計	2	0	1	3

⑥ 進路の状況

(人)

区分	保育所	幼稚園	こども園	支援学校	居住地小学校	合計
男	0	1	3	7	2	13
女	0	0	0	2	0	2
計	0	1	3	9	2	15

# (6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の 解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	口間
身体障がい	5	5	5	3	3	5	6	6	10	8	5	7	68
重症心身障がい	6	5	8	4	6	6	5	7	5	4	4	2	62
精神障がい	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
知的障がい	42	37	36	42	36	45	48	56	63	54	53	48	560
発達障がい	19	24	12	17	17	16	29	27	32	25	30	22	270
その他	6	7	4	4	1	0	1	2	0	4	6	4	39
合計	79	79	66	70	64	72	89	98	110	95	98	83	1003

② 支援内容

(件)

福祉サービスの利用等に関する支援	2103
障害や病状に関する支援	7
健康・医療に関する支援	62

保育・教育に関する支援	150
社会参加や余暇活動に関する支援	4
家計、経済に関する支援	1

不安の解消・情緒安定に関する支援	4
家族関係・人間関係に関する支援	50

その他	556
生活技術に関する支援	1
権利擁護に関する相談	1

延べ人数 103 人 相談件数 2939件

# (7) 保育所等訪問支援

保護者からの希望により、専門的な知識を持った訪問支援員が保育所等を訪問し、発達等に課題のある子どもたちに対して、集団の中で自分を発揮して安心して過ごし、より集団生活が豊かになるよう、対象児への直接的な支援、職員、環境などへの間接的な支援等、必要な支援を行った。

実施状況 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Λ ≓1.
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
公立保育所	3	4	4	6	4	4	6	7	6	6	6	4	60
私立保育所	5	5	6	2	6	7	7	6	7	8	5	9	73
公立幼稚園	8	7	8	7	5	8	11	12	11	10	6	9	102
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	16	18	15	15	19	24	25	24	24	17	22	235

# (8) くまさん親子教室事業

市家庭児童相談課からの紹介により、発達や養育上に課題のある 1 歳から 3 歳児とその保護者を対象に、親子教室を実施した。新型コロナウィルス感染症による緊急事態宣言発令中は、集団での教室を実施せず、個別対応として 1 組の親子で実施した。

6月より参加人数を制限して集団での親子教室を開始したが、感染を懸念し参加を控える保護者もいた。

実施状況 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	스크
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
月曜日	7	10	13	18	11	11	19	21	12	20	16	8	166
火曜日	6	8	15	10	12	12	14	16	12	12	13	17	147
水曜日	3	5	13	11	6	19	15	17	24	18	9	26	166
計	16	23	41	39	29	42	48	54	48	50	38	51	479

# (9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業として、主につくし園通園児を対象に、長期休暇中の余暇支援、保護者の就労やレスパイト支援を目的とし、家族支援の一環として日中活動の場として受入れを行った。

利用実績 (人)

Ī		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ⊋L
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
	延べ人数	12	10	12	14	8	13	10	13	13	11	5	14	135

### (10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- 1. 施設連絡会議(毎月2回)
- 2. 行事会議(随時)
- 3. ケース会議(随時)
- 4. 市家庭児童相談課との会議(判定会議等)
- 5. 処遇会議(毎日)
- 6. 給食会議(月1回)
- 7. 総括会議(年度末)

# (11) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を 周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練(総合訓練を含む)を月に1回実施した。

(人)

						()()
字歩口	相空巛宝	訓婦由宏		参加	1 者	
実施日	想定災害	訓練内容	園児	保護者等	職員	合計
4月23日	火災	避難訓練	14	3	14	31
5月14日	11	11	16	4	15	35
6月18日	"	11	13	2	12	27
7月29日	"	11	13	3	11	27
8月20日	"	"	15	4	18	37
9月10日	"	"	17	5	14	36
10月22日	"	"	15	5	16	36
11月19日	"	"	14	3	17	34
12月22日	"	11	13	0	15	28
1月17日	地震	11	15	4	16	35
2月28日	火 災	11	22	6	15	43

3月24日 火災	総合訓練	15	1	14	30
----------	------	----	---	----	----

# (13) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主催	職種
6月30日	大阪府相談支援従事者初任者 研修	リモート	大阪府	児童発達支援管 理責任者
6月~9月	大阪府相談支援従事者現任研 修	大阪市	大阪府	相談支援専門員
9月17日24日	大阪府医療ケア児等支援者養 成講座	大阪市	大阪府	相談支援専門員 保育士
10月~12月	大阪府相談支援従事者初任者 研修	大阪市	大阪府	公認心理師
11月25日	WISC の検査結果の見方と支 援方法	リモート	デイプレ イス	相談支援専門員
1月12日	子どもの偏食対応どうしてる	リモート	通園分科会	保育士
1月24日	安全運転管理者講習	吹田市	大阪府	管理者

<sup>※</sup>令和 3 年度は、新型コロナウィルス感染症対策により、中止となる研修会が多く 参加者が例年に比べ少数となった。

# (14) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に 受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
7月26日~8月6日	大阪子ども専門学校	保育実習	1
8月16日~24日	聖和短期大学	保育実習	1
8月24日~31日	聖和短期大学	保育実習	1
9月1日~9月8日	聖和短期大学	保育実習	1
9月9日~16日	聖和短期大学	保育実習	1
1月25日~2月7日	京都光華女子大学	保育実習	1

<sup>※</sup>その他、職員勉強会を適宜行った。

※実習生の受け入れにあたっては、2週間前からの検温の実施、当日の健康チェック表の提出を求めた。

※2月に予定していた実習生2名は感染症の影響により令和4年度に延期とした。

### (15) 他機関との連携

### ① 子育て支援ネットワーク推進会議

今年度は 2 回開催され、コロナ禍における各事業の工夫点について話し合いが行われる。また、恒例となっていた(令和元年、2 年度は中止)「親子ランド In 鳥飼」の開催に向けて話し合いを行ったが、開催直前の感染拡大を受け中止となった。

# ② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施している。令和3年度第1回目は、2年ぶりに対面で開催する事が出来たが、2月に予定していた第2回目は、感染拡大により中止となった。

### ③ その他

#### \* 摂津市要保護児童対策地域協議会

当園入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、虐待等好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、 情報交換、役割分担をして子どものすこやかな育成及び家族支援に努めた。

※対象児の就学にあたり、関係機関でのケース会議実施

### \*卒園後のフォロー体制

卒園児が就学した小学校へ担当職員が出向き、児がより安心して学校生活を送ることが出来る様、職員が作成した資料をもとに引継ぎを行った。また、必要に応じて継続的に、就学先や卒園児保護者からの相談に応じた。就園児が入所・入園した保育所・幼稚園へも担当職員が出向き、就学児同様引継ぎを行いよりスムーズに移行できるように努めた。

### \*ボランティア

新型コロナウィルス感染症の感染拡大を防ぐことをねらいとし、行事縮小して実施したため、ボランティアの受け入れを行う機会がなかった。

### \*職業体験

令和3年度は受け入れなし。

# (16) 新型コロナウィルス感染症の発生に伴う措置

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。

- ・園児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施 (体調がすぐれない・37.5 度以上の発熱の場合は利用を控えていただいた)
- ・活動前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底(未就学児は除く)
- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・保育内容の工夫 (密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど)
- ・行事の縮小・内容の変更及び中止
- ・玩具・設備(共有部分)等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定(アクリル板の設置・空気清浄機の設置等)
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼
- ・感染拡大時には、相談員による家庭訪問・事業所訪問の自粛(電話・手紙の活用)
- ・家族に感染の可能性があり自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機 の協力を要請
- ・他機関との情報共有

### ◆新型コロナウイルス感染症罹患者が発生した時の対応

- ・罹患者から速やかに連絡を受け、医師、保健所からの指示の報告を受け、行動履歴 及び体調の確認を行った。
- ・ 茨木保健所と連携し、対応について指示を受け、摂津市担当課、法人本部、職員と共有し速やかに対応(保護者連絡・園内消毒等)を行った。
- ・適宜休園措置を行い、休園中も保護者に電話連絡及びセコム安否確認システムを利 用し連絡を行い、体調の変化等について確認すると共に、困りごとや不安等はないか 伺い、共に考える体制作りを行った。
- ・休園中は、職員体制も検討し必要に応じて自宅待機とした。また、自宅待機中も体調 管理を行い、変化があった場合は速やかに報告を受け、感染拡大を防ぐ取り組みとし た。

### ◆今後に向けて

新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止対策への対応は長期化すると考えられる。 今後も、摂津市子育て支援課等関係機関と連携を図りながら「児童発達支援センター」 として、市民に安心・安全なサービスを提供するためには、感染を防止するための環境を 整えることはもとより、職員の意識の継続が必要となる。その為、職員の精神面へのケア も必要かつ重要と考えられる。

# II 障害児通所支援施設「めばえ園」

#### (1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通学利用の発達に課題のある児に対する支援を行う身近な発達支援の場として、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の相談支援及び行政機関(出産育児課、子育て支援課、家庭児童相談課)で受付けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

摂津市出産育児課、家庭児童相談課、教育支援課からの依頼、観察・評価ケースが 73 件、保育所の巡回指導からのケースが 23 件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき 連携・協力に努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利 用者のニーズに応えていけるよう更なるサービスの向上を図っていきたい。

# (2) サービスの状況

### ① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

#### ② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。 利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

### ③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が 多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってき た。

# ④ グループ訓練

健診後のフォロー教室として、出産育児課からの紹介等により、週 1 回の親子教室を 実施し、子の困り感へのアプローチだけでなく、こだわり等により育てにくい子を持つ、 子育てに悩む保護者に対して、保育士・言語聴覚士・作業療法士があらゆる側面から支援 を行った。

### ⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

# ⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請について、相談支援専門員と連携を図り援助を行った。

### ⑦ 家庭との連携

訓練には親子で来園し同室で訓練の様子を見てもらうことにより、児への対応と発達 段階を理解できるよう努めた。また、学習し成長していく過程を担当職員と共感し、児へ の理解を深め受容できるように、助言すると共に、揺れ動く保護者の気持ちに寄り添って きた。

### ⑧ 関係機関との連携

利用児の所属小学校の担任教諭等が訓練の見学に来園し情報共有を行う、こども教育 課の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなど した。また、必要に応じて「教育支援会議」に出席し、情報提供及び助言を行った。

### (保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
6月1日	みなみせんりおか遊育園
6月9日・10月11日	正雀ひかり園
2月23日	正隹びかり園
6月25日・11月5日	摂津さつき保育園
2月4日	投作さりる休月園
7月5日・10月13日	摂津市立べふこども園
1月21日	
7月27日・2月3日	とりかい遊育園
7月29日・11月8日	鳥飼さつき園
2月4日	<b>高野の との 図</b>
8月30日・11月15日	藤森保育園
9月21日・11月29日	と h みい 市 妆
1月12日・2月7日	とりかい東遊育園
10月11日	摂津ひかり幼稚園
10月15日・1月25日	摂津市立子育て総合支援センター

11月9日	勝久寺保育園
12月7日	わかば保育園

# (引継ぎ・来園相談・見学)

# 学校

	T		
実施日	対象機関		
4月2日・4月12日			
5月25日・7月1日	   摂津市立鳥飼西小学校		
11月19日・1月18日	按律中立局則四小子校		
1月20日			
4月5日・10月26日	   摂津市立三宅柳田小学校		
12月9日	按律中立二七柳山小子校		
4月6日・12月19日	   摂津市立鳥飼北小学校		
1月18日	按律中立為國北八千仗		
4月7日・11月18日	摂津市立味生小学校		
12月10日	按律中立外主小子仪		
4月8日・4月9日			
5月20日・11月15日	   摂津市立摂津小学校		
11月26日・11月29日	探待中立探待小子仪		
12月9日			
4月9日・10月20日	摂津市立千里丘小学校		
4月12日	摂津市立鳥飼東小学校		
4月15日・11月11日	摂津市立味舌小学校		

# 幼稚園

実施日	対象機関
4月1日	こみち幼稚園
4月5日・4月7日	せっつ幼稚園
4月19日	とりかい子ども園
4月21日・7月5日	かおり幼稚園
10月12日	摂津ひかり幼稚園
10月14日	つるのひまわり園

# (3)健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・担当

保健師との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた、特に感染症対策には細心の注意を払い、保護者・利用児において手洗い、うがい、手指消毒の励行、検温等体調管理に努めた。

# (4)通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
4	19	68	103	171
5	18	59	97	156
6	22	62	123	185
7	19	47	112	159
8	16	48	104	152
9	20	41	143	184
10	21	50	159	209
11	20	43	158	201
12	19	39	181	220
1	18	32	180	212
2	14	14	123	137
3	20	33	199	232
合計	226	536	1682	2218

# (5) サービス別の利用状況

(人)

	サービス別							つくし		
月	理学	療法	作業	療法	言語	語療法 グループ		観察	個別	延人数
	放	児	放	児	放	児	訓練		指導	
4	18	12	32	59	24	5	21	8	19	198
4	3	0	9	1	29	9	21	O	19	190
5	10	15	31	60	18	5	17	8	39	203
3	2.	5	9	1	23	3	17	O	39	203
6	12	19	31	68	19	11	25	15	39	239
0	3	1	9	9	30	)	23	13	39	239
7	10	15	18	56	19	20	21	4	34	197
	2.	5	7	4	39	9	41	4	34	171

8	10	12	26	59	12	22	11	8	22	193		
0	2	2	8	5	3	4	11	0	33	193		
9	8	23	23	66	10	26	28	10	39	233		
9	3	1	8	9	3	6	20					
10	14	32	23	70	13	33	24	4	40	253		
10	4	6	9	3	4	6	24	т	40	233		
11	11	28	19	68	13	32	30	5	37	243		
11	3	9	8	7	4	5	30	7	37	243		
12	14	24	13	78	12	37	42	7	27	254		
12	3	8	9	1	4	9	72	•	21	234		
1	12	29	12	72	8	31	48	5	30	247		
1	4	1	8	4	3	39		3	30	241		
2	6	22	2	53	6	24	24	7	22	166		
	2	8	55		30		5 30		24	,	22	100
3	14	36	7	85	12	33	45	11	35	278		
3	5	0	9	2	45		43	11	33	210		
計	139	267	237	794	166	279	336	92	394	2704		
ĦI	40	406 1031 445		15	330	94	374	2104				

### (6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議 を開催した。

- 1. 施設連絡会議(毎月2回) 2. めばえ意見書会議(年2回)
- 3. 家庭児童相談課との会議(判定会議、随時)
- 4. 行事会議 (随時)
- 5. 処遇会議 (毎日)

### (7)災害防止対策 (つくし園と同様)

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を 周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練(総合訓練を含む)を月に1回実施した。

### (8) 職員研修

つくし園事業報告書に記載

- (9) 新型コロナウイルス感染症の対応及び感染拡大防止に向けての対策 令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。
  - ・利用児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施 (体調がすぐれない・37.5 度以上の発熱の場合利用を控えていただいた。)
  - ・訓練実施前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底(訓練中の利用児は除く)

- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・訓練内容の工夫 (密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど)
- ・教材・玩具・設備(共有部分)等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定(アクリル板の設置・空気清浄機の設置等)
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼
- ・家族に感染の可能性があり自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機 の協力を要請
- ・他機関との情報共有

### ◆新型コロナウイルス感染症罹患者が発生した時の対応

- ・罹患者から速やかに連絡を受け、医師、保健所からの指示の報告を受け、行動履歴 及び体調の確認を行った。
- ・担当保健所と連携し、対応について指示を受け、摂津市担当課、法人本部、職員と共 有し速やかに対応(保護者連絡・園内消毒等)を行った。
- ・併設されているつくし園で罹患者が確認された場合、感染拡大を防ぐ取り組みとして、 同様に休園とした。

### ◆所属校で感染者が出た場合

・新型コロナウィルスの感染により、所属校、所属園が休校、休園となった場合は、当園の利用も控えていただくよう周知、徹底した。(家族等が感染の可能性がある場合も同様の措置)

# 4 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

#### (1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移 行支援・就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした 手法で落ち着いて過ごせる環境を整えた。その結果、活動や行動に見通しを持ち作業に集 中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。昨年度同様に近隣の企業から作業を 請負い、生産活動の機会を提供し昨年以上の高い工賃支給額へと繋がった。

就労移行支援では、自立訓練にて2年間の訓練を経て就労移行支援サービスを利用した3名の利用者が、一般就労に結びついた。また、継続雇用ができるよう就労定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業(希少金属の再資源化)」と施設外就労「食品トレイ等選別業務」、その他請負作業とシール張り作業の充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

自立訓練では、カリキュラム内容の見直しを行い、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適性とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。その他、新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

また今年度、福祉サービスの質の向上を図ることを目的に福祉サービス第三者評価を 受審した。支援やサービスの取り組み・成果が明らかになり、具体的な課題や改善点を知 ることができた。

その他、新型コロナ感染予防に努め、陽性者が発生した場合は速やかに市・保健所・関係機関と連携を取り感染拡大を防いだ。また、昨年度同様に感染対策として手洗いうがいの徹底。3密を避ける取り組みとして、時間差での給食の提供と活動の分散化。各部屋への換気器具の設置。利用者へ見て分かりやすいルールの掲示等に取り組んだ。

その他、利用者が快適に園生活を送る事ができるよう照明器具の交換、トイレの洗面台等の修繕を行いながら、利用者が安全に安心して登園できるよう環境整備も行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材 育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

### (2) 支援の状況

### ■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を請け負い、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の

一員としてのやりがい・いきがいを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

### ① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に 応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を 行った。

### ② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、利用者、家族へ制度やサービスの利用について働きがけや、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきたが、昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルスの影響で事業を実施する事ができなかった。

### ③ 日中活動の充実 (療育活動・作業訓練・生活支援)

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し活動を行った。

### (ア) いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

# (イ) わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動(シール張り作業)・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

#### (ウ) うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ 運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

### (エ) のびのびクラス

作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った。和紙作業・生産活動 (シール張り作業)・制作活動・レクリエーションなどでは集団を意識できる活動を行った。

#### (オ) かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。 調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた 活動を行った。

### ④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画(6ヶ月ごとに見直し)をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応と必要に応じた適切な支援を行った。

### ⑤ 生產活動(収入状況)

(単位:円)

内 容	年間収入	事業所
シール張り作業	24,392	(株)フレッシュファーム
その他の収入	1,268	
収入合計	25,660	

### ⑥ 工賃支給状況

(単位:円)

工賃支給総額	利用者数	工賃/1人平均
25, 560	9	2, 840

# ■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)

就労移行支援では、カリキュラム(ビジネスマナー、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、面接、履歴書作成等)を充実させ実践的な訓練(面接会等)と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労後も継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せっつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きがけにより、官公需要や地域の企業からの継続的な作業受注に繋がった。

また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

その他、市からの業務受託事業(食品トレイ等選別業務)に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

また環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練(生活訓練)では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期(1年目)、後期(2年目)の総合的なカリ

キュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。

また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援 事業所等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。その他、選ばれる事業所を目指 し、支援学校や関係機関への啓発活動も強化した。

### ① 作業訓練と還元金

個別支援計画(就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し) に沿った支援を実施した。

陶芸や軽作業(電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業)と食品トレイ選別等 業務など幅広い作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

### ② 生活支援プログラムの充実

利用者の個々のニーズに即した生活支援や、自治会・情報提供・運動などを実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援 生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

### ④ 家庭生活、地域生活支援

ニーズや家庭状況に合わせて必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

障害福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を図り「一人暮らし・自立」への地域生活支援を実施した。また、その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

### ⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育と進路について考えてもらうことを目的に積極的に受け入れてきた。

#### ⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文には平易な表現やひらがな やルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

### ⑦ 作業指導

### ■就労移行支援、就労継続B型

### 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、 幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

#### 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール貼り作業を受注した。また、「障害者週間」と「成人式」に配布するカイロ袋詰め作業を摂津市の担当課より請け負った。この他3ヶ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

#### ・食品トレイ選別等業務

摂津市リサイクルプラザにて食品トレイの分別・選別を行い、資源リサイクルとごみに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

#### ・小型家電リサイクル事業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希 少金属(レアメタル)を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。 作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

#### ■自立訓練(生活訓練)

就労移行支援、就労継続支援 B 型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

#### ⑧ 就労活動

#### ■就労移行支援

名 称	場所	参加者
求職活動	ハローワーク茨木	2
求職活動	ハローワーク茨木	1
<b>小菜</b> • 車	エスプールプラス	2
正未	わーくはぴねす農園	2
<b>企業</b> • 車業所害羽	エスプールプラス	1
正术 事术川大日	わーくはぴねす農園	1
求職活動	ハローワーク茨木	1
企業, 重業所而接	エスプールプラス	1
正未 事未///回接	わーくはぴねす農園	1
企業• 事業所目学	エスプールプラス	1
正木 于木川儿丁	わーくはぴねす農園	1
求職活動	ハローワーク茨木	2
	求職活動 求職活動 求職活動 求職活動 企業・事業所見学 企業・事業所実習 求職活動 企業・事業所実習	求職活動       ハローワーク茨木         求職活動       ハローワーク茨木         求職活動       ハローワーク茨木         求職活動       ハローワーク茨木         企業・事業所見学       エスプールプラス わーくはぴねす農園         水職活動       ハローワーク茨木         本業・事業所実習       エスプールプラス カーくはぴねす農園         水職活動       ハローワーク茨木         企業・事業所面接       エスプールプラス カーくはぴねす農園         企業・事業所見学       エスプールプラス カーくはぴねす農園

8月25日	企業・事業所面接	エスプールプラス わーくはぴねす農園	1
8月31日 ~9月3日	企業・事業所実習	エスプールプラス わーくはぴねす農園	1
9月7日~ 9月8日	企業・事業所実習	エスプールプラス わーくはぴねす農園	1
9月9日	摂津市障がい者就職フ ェア参加	摂津市コミュニティ プラザ	2
10月21日	企業・事業所見学	株式会社ウエダ	1
11月 1日	就業・生活支援センタ ー登録	ひびきはばたき園	1
11月 4日	企業・事業所見学	㈱ JRF クリエ	1
11月 8日	企業・事業所実習	㈱ JRF クリエ	1
~12 日	正未、事未所大百	株式会社ウエダ	1
12月21日	企業・事業所面接	エスプールプラス わーくはぴねす農園	1
12月21日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	2
12月24日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	2
1月14日	企業・事業所面接	エスプールプラス わーくはぴねす農園	1

# ⑨ 就職状況

■就労移行支援

代労移行支援			(人)
事業所名	職種	所在地	人数
日本システム(株) (エスプールプラスわーくはぴねす農園)	農園スタッフ	摂津市	1
(株)JFE メカフロント倉敷 (エスプールプラスわーくはぴねす農園)	農園スタッフ	摂津市	1
(株)ベイカレント・コンサルティング (エスプールプラスわーくはぴねす農園)	農園スタッフ	摂津市	1

# ⑩ 生産活動(収入状況)

■就労移行 (単位:円)

024 12 14		(1 1 4)
内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	407,250	
その他	178,507	カネカ労働組合大阪支部等
収入合計	585,757	

# ■就労継続B型支援

(単位:円)

内 容	年間収入	事業所
清掃作業	184,800	㈱セラ
空缶・古紙回収	47,359	
電気部品の加工作業	412,138	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	85,400	エッグ住まいる工房
シール張り作業	81,371	(株)フレッシュファーム
カイロ袋詰め等請負作業	59,500	官公庁等
小型家電解体作業	664,353	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	8,651,350	環境業務課
その他	2,804	
収入合計	10,189,075	

# ⑪工賃支給状況

## ■就労移行支援

(単位:円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃	
4	24,047	5	4,809	
5	23,681	5	4,736	
6	23,637	5	4,727	
7	24,125	5	4,825	
8	23,077	5	9,341	
一時金	23,626	3	9,341	
9	23,813	5	4,763	
10	19,167	4	4,792	
11	19,625	4	4,906	
12	19,625	4	0.670	
一時金	19,053	4	9,670	
1	17,833	4	4,458	
2	13,750	3	4,583	
3	9,546	2	0.514	
一時金	9,481	2	9,514	

工賃支給総額	平均工賃/ヶ月
294, 086	5, 766

# ■就労継続B型支援

# ・食品トレイ選別作業

(単位:円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	824,310	8	103,039
5	705,740	8	88,218
6	861,940	8	107,743
7	777,450	8	97,181
8	728,460	8	91,058
9	733,430	8	91,679
10	722,780	7	103,254
11	685,150	7	97,879
12	686,570	7	98,081
1	515,460	7	73,637
2	613,440	7	87,634
3	796,620	8	99,578

# ・軽作業

(単位:円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	68,929	8	8,616
5	70,555	8	8,819
6	69,773	8	8,722
7	69,875	8	8,734
8	68,590	8	34,731
一時金	209,260	0	34,731
9	69,250	8	8,656
10	68,691	8	8,586
11	70,000	8	8,750
12	73,250	9	31,182
一時金	207,391	9	31,102
1	72,666	9	8,074
2	72,084	9	8,009
3	69,318	9	22.955
一時金	145,379	9	23,855

工賃支給総額	平均工賃/ヶ月
10,056,361	5 2, 6 5 1

# (3) 行事

行事は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図ることを目的として実施予定だったが、今年度は、多くの行事が新型コロナウイルスの影響で内容変更もしくは自粛となった。

## ■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B型・自立訓練(生活訓練)

実施日	行事名	場	所	参加人数	内 容
					利用者がハンドベ
				利用者	ルをしている動画
				生介 31	の上映や、各サービ
12月23日	ジャンボ	各サービス	<b>佐娄宏</b>	かがやき 3	スでクリスマスに
12月25日	クリスマス会	付り一と人	干未至	移行 4	ちなんだレクリエ
				B型 15	ーションを行う。
				自立 3	新型コロナウイル
					スの影響で縮小
3月17日~26日		市役所本館	11階ロビ		コロナウィルスの 影響でコミュニテ ィプラザでの作品
	つくっ展			約 100 人	展は中止。利用者の
					作品を多くの方に
		身障老人。	センター		見て頂こうと作品
3月26日		2 階			展示のみ2ヵ所で実
					施。

<sup>※</sup>その他、摂津宥和会運動会・風船バレーボール大会等については、新型コロナウイルスの 影響で中止となった。

## ■生活介護

実施日	行事名	場所	参加人数	内 容
8月30日	新型コロナウィル ス勉強会(劇)	作業室C、A	利用者 生介 25	園でコロナウィルスに 関する動画を作成す る。動画を利用者・職 員で視聴し学びの場と した。
12月15日 17日 20日 21日	おやつ作り	かがやき調理室	利用者 生介 31	利用者のニーズに合わせ調理に参加する者と 食べる喜び重視のグループに分け実施。

※その他、懇親会、園外活動・スプリングフェスタ等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

# ■生活介護かがやき

## 食事会

実施日	行事名	場所	参加人数	内 容
				食事を楽しむこと
7月14日	かがやき食事会	吹田グリーンプレ	利用者	で潤いのある園生
20 日	がかべる良事芸	イス	かがやき 5	活を送ることを目
				的とし実施。

# ② 社会見学

※新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。

# ③ 調理訓練

実施日	行事名	場所	参加人数	内 容
				コロナウィルス感
7月16日				染予防の為、園で
10月13日	かがやき調理訓練	かがやき調理室	利用者	調理したおやつを
11月11日	がかそき調理訓練	がかそき調理主	かがやき 14	提供し利用者に食
12月10日				べる喜びを感じて
				もらった。

# ■就労移行支援・就労継続支援 B型・自立訓練(生活訓練)

実施日	行事名	場所	参加人数	内 容
11月11日12日	「Emu によるミニ 演奏会」「ヤクルト 出前事業」	はばたき園舎2階	利用者 移行 4 B型 14 自立 3	コロナウィルスの 収束する兆しが見 ない状況で制限が ある中、音楽の楽 しさ、健康の大切 さを感じてもらう ことを目的とする
12月3日	自立訓練 食事マナー訓練	かがやき調理室	利用者自立 3	食事マナーを身に つけてもらうこと と同時に社会人と しての意識の向 上・経験拡大を目 的とし実施。

#### (4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練(生活訓練) 定例的な個別面談や家族会にとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による 情報交換を行った。

項目	実施日	内容
個人面談家庭訪問	随時	個別支援計画(生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移 行支援、自立訓練(生活訓練)は年4回以上)の説明と同意を 得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を 実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築 き、問題解決を図った。また、新型コロナウイルス感染予防と して電話での面談を実施した。
給食試食 会		新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。
家族会		新型コロナウイルスの感染拡大のため中止としたた。
機関紙	3 カ月ごと 発行	当月の予定や園活動を掲載し、3カ月ごとにカラー印刷で発行した。
月課表	毎月1日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態·家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならな い場合に実施した。
その他	適時	家族の都合により、送迎時間外で園で過ごしてもらい 登園時間外は、自力での登降園となる。

#### ① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援 として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応 じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

#### ② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との 連携を行った。

#### ③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

#### ④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

#### (5) 法人内他施設との連携

· 就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活 支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるよ うに連携を図ってきたが、今年度は新型コロナウィルスの影響で実施できなかった。

・みきの路との交流

みきの路の運動会や当園のクリスマス会、「つくっ展と輝けコンサート」等の催しにお 互いの利用者が参加し交流していたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施で きなかった。

・グループホーム「ヒマワリ」入所 ヒマワリ、相談支援事業所ウイング、ご家族とスムーズに入所できるように連携を図っ た。

#### (6)健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌〇-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、特に陽性者が発生した場合は法人、市役所及び関係機関と迅速に連携しながら対応に当たった。新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・うがい・3密防止を徹底した。

園からの健康管理についての発信では「保健だより」を発行して、より利用者が快適で 安全な園生活を送ることができるように努めた。

## 環境整備

- ○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- ○薬箱・体温計の整理・管理(作業室C) ○医薬品管理
- ○業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒
- ○マスク ○非接触体温計 ○ペーパーホルダー ○換気器具設置

#### ② 健康の維持・管理

- ○健康カード作成(個人データの整理)
- ○検温(体調不良時には随時) ○血圧測定
- ○理学療法士による運動プログラム ○配慮食・きざみ食の提供
- ○インフルエンザ対策 (手洗い・うがい励行 検温・視診)
- ○健康チェックカード (毎登園時提出)

## ③ 服薬管理

- ○医療調査票作成(通院状況・服薬状況・担当医調査)
- ○服薬管理(活動時間内に服薬する利用者の服薬管理)

#### ④ 作成資料

(ア) 保健だより 年3回発行

(イ) 通院状況表

(ウ) 服薬調査表

(エ) 健康チェックカード

## ⑤ 健康診断

(ア) 内科医健診

実施日 10月26日

(イ) 血圧・脈拍測定

実施日 毎月1回

\*健診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

(ウ) その他健診、検査

歯科健診

実施日 7月19日

検尿

実施日 5月11日 9月28日

#### (7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して18年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映した給食提供をした。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

- 1. 給食会議の充実
- 2. 「給食だより(献立表)」の発刊(月1回)
- 3. 残食検査の実施
- 4. 食事提供状態の充実
- 5. 衛生管理の充実
- 6.利用者給食会議

# (8) 利用者の状況

①通所状況 (在籍者数は月初の人数)

■生活介護 (人)

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	32	32	33	33	33	33	33	33	33	33	32	32	
支援日数 (日)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	15	18	22	237
延利用数 (人)	562	473	603	557	512	528	595	557	565	414	406	529	6,301

# ■生活介護 (かがやき)

(人)

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	
支援日数 (日)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	15	18	22	237
延利用数 (人)	45	33	44	38	41	44	45	58	57	44	38	46	533

# ■就労移行支援

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	2	
支援日数 (日)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	15	18	22	237
延利用数 (人)	102	87	104	95	94	98	83	79	79	54	51	44	970

# ■就労継続支援B型

(人)

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
支援日数 (日)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	15	18	22	237
延利用数 (人)	314	271	329	298	292	289	292	280	288	221	261	332	3,467

# ■自立訓練(生活訓練)

(人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
支援日数 (日)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	15	18	22	237
延利用数 (人)	53	43	58	57	56	54	60	57	60	43	47	50	638

# ②年齡別 (令和3年3月31日現在)

■生活介護

(人)

年齢 性別	18~19才	20~24才	25~29才	30才~	計
男	1	7	3	11	22
女	1	0	1	8	10
計	2	7	4	19	32

# ■生活介護かがやき

年齢	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	≓I.
性別	才	才	才	才	才	才	計
男	1	0	2	1	0	1	5
女	0	1	0	1	1	0	3
計	1	1	2	2	1	1	8

■就労移行支援

(人)

年齢性別	18~19才	20~24才	25~29才	30才~	計
男	0	0	0	2	2
女	0	0	0	0	0
計	0	0	0	2	2

■就労継続支援 B 型

(人)

年齢性別	18~19才	20~24才	25~29才	30才~	計
男	0	2	3	4	9
女	0	0	0	7	7
計	0	2	3	11	16

■自立訓練(生活訓練)

(人)

年齢性別	18~19才	20~24才	25~29才	30才~	計
男	0	2	0	0	2
女	0	1	0	0	1
計	0	3	0	0	3

③手帳の所持

(ア) 療育手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	21	0	0	21
女	10	0	0	10
計	31	0	0	31

■就労移行支援

判定 性別	A	B1	B 2	計
男	1	1	0	2
女	0	0	0	0
計	1	1	0	2

■就労継続支援 B 型

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	4	5	0	9
女	1	5	1	7
計	5	10	1	16

■自立訓練(生活訓練)

(人)

判定性別	A	B 1	B 2	計
男	1	1	0	2
女	0	1	0	1
計	1	2	0	3

(イ)身体障害者手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護

(人)

級性別	1級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	4	0	1	6
女	1	1	0	1	3
計	2	5	0	2	9

■生活介護かがやき

(人)

級性別	1級	2 級	3 級	4 級	計
男	3	2	0	0	5
女	1	2	0	0	3
計	4	4	0	0	8

(ウ)障害支援区分 (令和3年3月31日現在)

■生活介護

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分3	計
男	7	8	5	2	22
女	2	4	4	0	10
計	9	12	9	2	32

## ■生活介護かがやき

(人)

区分性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分3	区分 2	計
男	0	2	3	0	0	5
女	0	1	0	0	2	3
計	0	3	3	0	2	8

## (9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議(月2回)

2. 作品展実行委員会(随時)

3. 職員会議(随時)

4. ケース会議 (随時)

5. 給食会議(毎月1回)

6. サービス向上委員会(随時)

7. 虐待防止・権利擁護委員会(随時) 8. リーダー会議(随時)

## (10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職 員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。尚、新型コロ ナウイルス感染予防対策として、火災報知器は鳴らさず各サービス時間差で実施した。ま た、ふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回(6月、11月)予定し ていたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

					参加者		
実施日	想定	訓練内容		利月	月者		
大旭日	災害	训水门台	生活	就労	就労	自立	職員
			介護	移行	B 型	支援	
4月13日	火災	避難訓練	24	4	7	3	21
5月25日	11	"	21	5	8	3	19
6月18日	11	"	23	5	7	3	20
7月13日	11	"	25	4	9	3	21
8月 5日	11	"	26	4	8	2	16
9月21日	11	"	23	5	6	3	21
10月12日	11	"	21	4	7	3	21
11月 1日	11	消防総合訓練	24	4	6	3	21
12月 2日	11	避難訓練	26	4	8	3	21
1月25日	震災	"	23	3	8	2	18
2月16日	火災	"	19	3	7	2	18
3月10日	震災	11	23	2	7	2	20

# (11)職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

# ① 機関研修

研修日	研修名	場所	主催	職種
7月 5日	令和3年度感染症・食中毒 予防対策講習会	ふれあいの里 (オンライン配信)	ファイン財団	支援員
7月26日	第 44 回てんかん基礎講座	ふれあいの里 (オンライン配信)	公益社団法人 日本てんかん協会	支援員
8月25日	令和3年度人権啓発学習会	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	摂津地区人権推進企 画連絡会	支援員
8月26日	自閉症スペクトラム症 (ASD) の特性と理解	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	大阪知的障害者福祉 協会	支援員
9月 6日 9月13日	令和3年度大阪府強度障が い者支援者養成研修(基 礎)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立 支援センター	支援員
9月 9日	共生・福祉のまちづくり研 修	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	大阪府社会福祉協議 会	支援員
9月29日 9月30日 10月1日 10月7日	令和3年度 就業支援基 礎研修	クラボウ本社ビル	高齢・障害・求職者 雇用支援機構大阪支 部大阪障害者就職セ ンター	支援員
10月2日	いのち見つめて~高次脳 機能障害と現代社会~	高槻現代劇場文化ホール	大阪・兵庫高次脳機 能障害研究会	支援員
10月18日	安全運転管理者講習	吹田市文化会館メイ ンシアター	大阪府公安委員会	施設長
11月15日 12月17日	令和3年度大阪府強度行動 障がい者支援者養成研修 (実践)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福 祉センター	支援員
1月14日	令和3年度普通救命講習 (AED 講習)	ふれあいの里	摂津市消防署	支援員
2月 7日 2月 8日	令和3年度サービス管理責 任者(基礎研修)	ビック・アイ (国際 障害者交流センタ ー)	大阪府障害者福祉事 業団	支援員
2月 8日	令和3年度障害者虐待防止 マネージャー研修会	ふれあいの里 (オンライン配信)	全国社会福祉協議会	施設長 代理
2月 9日	令和3年度大阪府相談支援 従事者初任者研修	ふれあいの里 (オンライン配信)	大阪市障害者福祉・ スポーツ協会	支援員
2月17日	令和3年度サービス管理責 任者(更新研修)	大阪府社会福祉会館 (動画視聴)	大阪府地域福祉推進 財団	支援員

#### ② 専門研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防という点で対面での研修は全て見送られた。 北摂ブロック栄養士研修会のみ「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

#### ③ 施設内研修

新型コロナ感染予防から

#### (12) その他

#### ① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設ける予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受入れできなかった。

#### ② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することと、進 路選択を行うため広く受け入れた。また、新規事業を予定している民間の事業所より職員 の現場実習の受入れを行った。

※今年度は新型コロナウイルス感染予防の徹底を行い受入れを実施した。

#### (実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
10月11日~15日	茨木支援学校	生活介護	1
10月25日・26日		生活介護	1
11月1日・2日・9日	次小又扳子仪 	土石刀 茂 	1
11月15日~19日	とりかい高等支援学校	就労移行	1

#### (職場体験実習)

毎年、摂津市立第三中学校より学生の受入れを行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により受入れは行わなかった。

#### ③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

#### (13) 日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の 平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを予定していたが、今年度は新型コロ ナウイルスの影響で受け入れが難しかった。受入れにあたり、本体施設利用者の状況や施設面 (ハード面) などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないので児童の受入れは難しい状況である。

## (14) 移動支援事業 (ガイドヘルパー派遣事業)

#### ① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドへルパーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、 今年度は見合わせた。

#### \*利用契約者の状況(令和3年3月31日現在)

		人数	合 計
障	知的障害	33	
障 害 種 別	身体障害	4	37
莂	精神障害	0	
身体介護あり		25	37
身体介護なし		12	37

#### ② 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受講できなかった。

#### ③ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で移動支援事業が実施できないため、会議も行っていない。

#### (15) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止対策の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みに努めながら、法人の新型コロナウイルス対応マニュアルの徹底、ひびきはばたき園のルールや BCP (業務継続計画)、緊急連絡先リスト等の整備も行った。また、施設内で登園前と降園後にドアノブや手すり、机等を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、登園時に検温・手洗いうがいの徹底、体温チェックシートの提出や、利用者に視覚的にわかりやすい掲示物やパネルを用意し安全安心に活動に取り組めるように努めた。その他、各作業場には空気清浄機や換気器具等の設置等や、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動や行事の見直し等、利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。尚、利用者及び家族、職員に陽性者が発生した場合、

保健所・市役所や関係機関と連携を図り、拡大防止に努めた。利用者に登園自粛要請、欠席者には体調確認の連絡を入れる。また陽性者が復帰する場合は、抗原検査を実施し感染拡大防止に努めた。

#### 摂津市立身体障害者・老人福祉センター 5

#### (1) 概況

施設スローガンとして『共に歩もう!笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営にお いて職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の 良い施設づくりに力を注いだ。また、利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・ 友だちづくり | を目的に、教養講座に加え、介護予防やフレイル(虚弱)予防を中心とし ながら事業展開した。

令和3年度についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、"緊急事態宣言が 発令"され、4 月末から 6 月中旬にかけて 44 日間の休館を余儀なくされた。6 月 21 日よ り開館したが、3 密(密閉・密集・密接)回避を基本とする感染防止対策や消毒など利用 者が少しでも安心・安全に利用していただける環境づくりに職員一丸となって尽力した。 実施予定であったバスツアーや福祉センターまつり等については残念ながら中止せざる を得ない状況であったが、日頃より利用いただいている活動団体や主催事業等の活動成 果発表及び活動紹介の場として、"作品展・活動紹介月間"を実施し延べ 170 人を超える 方々に鑑賞していただいた。そして、今年度についても、つどい場運営ボランティアや手 芸ボランティアの皆さんに、3 密回避の観点から活動人数を減らしたり活動日についても 複数設ける等しながら施設運営の一翼を担っていただいた。また、時代のニーズに合わせ 「公式 LINE アカウントの開設」や「施設ホームページの充実」を行い、事業のお知らせ や活動風景写真を掲載するなどの取り組みに加えて、利用者にホームページの閲覧方法 やスマートフォンの使い方をレクチャーするなど日常的に行った。そして、これまでと同 様に、同好会や自主グループへの支援にも力を注いだ。

#### (2) 利用について

- ① 利用対象
  - ・市内在住の身体に障がいのある方 ・市内在住の60歳以上の方

#### ② 利用手続

- ・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受け付ける。

#### ③ 開館時間

・8時45分から17時15分まで

#### 4 休館日

・日曜日 ・国民の祝日・12月29日~1月5日まで

## (3)年間主要行事の実施状況

#### ① 年間主催事業

## (ア) 主催事業

(人)

講座名	実 施 期 間	受講者数
男性のための	7月3日~3月19日 (16回)	13
筋トレ&ストレッチ教室	毎月第 1・3 土曜日 9:10~10:30	
男性のための体操教室	6月24日~3月31日(17回) 毎月第2・4木曜日 10:30~11:30	7
健康体操(新規)	4月8日~3月31日 (20回) 毎月第2·4木曜日 12:45~13:45	8
カラオケ教室	4月7日~3月17日 (20回) ①毎月第1·3水曜日 10:00~12:00	11
カノオノ 秋王	4月7日~3月17日 (20回) ②毎月第1·3水曜日 12:45~14:45	11
エアロバイク講習会 (フォローアップ講習)	8月30日·11月18日(2回) 不定期 10:00~11:00	4 (2)

## (イ) 受託事業

## ●つどい場事業

(人)

講座名	実 施 期 間	年間参加者数
つどい場&カラオケ教室	4月7日~3月30日 (39回) 毎週水曜日 10:00~12:00	401 230 (ボランティア)

※つどい場&カラオケ教室について、4月~6月の休館期間中に登録者に対して、電話での健康状態確認や"福祉センターだより""ライン公式アカウト登録"のチラシや "折り紙の製作キット"などを郵送した。

#### ●いきいきカレッジ

『人生はこれからだ!持ち続けよう!やる気と元気!』を年間テーマとして高齢者の 方々が知識と教養を深める場、生きがいづくりや仲間づくりを行う場として開講した。

講座名	実 施 期 間	受講者数
いきいきカレッジ(老人大学)	9月10日~12月17日(全15回) 毎週金曜日 10:30~15:00	21

# 1 一般教養科目

			,
	月日	講演名	講師名
1	9月17日	『心身の疲れに笑薬を』	レクリエーション・コーディネーター 郡 眞由美氏
2	10月1日	『いつでもどこでも指ヨガ』 ~コロナにも対応~	健康運動指導士 木下 友恵 氏
3	10月15日	『初めてのお買い物』 ~不慣れな買い物で何に注意が 必要か一緒に考えましょう~	摂津市消費生活相談ルーム 相談員 中村 元繁 氏
4	10月29日	『スマホ講座』 ~スマホを使いこなそう(1)~	モバイルパートナー 山本 聖也 氏
5	11月5日	『スマホ講座』 ~スマホを使いこなそう(2)~	モバイルパートナー 山本 聖也 氏
6	11月19日	『健康長寿はお口から』	歯科衛生士 斎藤 星子 氏
7	12月3日	『交通安全の話』	摂津警察署交通課

※終日専門科目 9月24日·10月8日·10月22日·11月12日·11月26日 実施

# 2 専門科目

科 目	内容
陶芸を楽しもう科	・土もみ(荒もみ 菊もみ)・蓋物象嵌作り ・波紋長皿作り ・赤土型皿(白化粧)作り・長方皿作り(布目、波紋) ・編み込み皿作り(市松模様) ・巻き模様皿作り ・タタラマグカップ(横縞・鶉手)作り ・一輪挿し(墨流し模様)作り ・釉薬がけ
笑顔で体操しよう科	・正しいスクワットなど正しい筋トレの方法 ・膝痛、腰痛、肩こり、股関節予防改善体操 ・座ってできる足腰強化のいす体操 ・バランストレーニング ・認知症予防エクササイズ~エアロビクスなど~ ・フレイル予防(パタカ体操・早口言葉など) ・ウォーキングの方法 ・運動が大切な理由 ・高齢者の老化に伴う体の変化 ・知っておきたい体のこと ・呼吸について(胸式呼吸と腹式呼吸) ・筋肉のお話 ・ロコモティブシンドロームについて ・フレイルとは? ・認知症と軽度認知症 ・自律神経のお話 ・運動を習慣化するために

パソコンを もっと知ろう科	・入力の基礎 ・Word ・文書編集、書式設定 ・表の作成と編集 ・グラフィックスの利用、応用 ・年賀状作成 ・音楽 CD の取り込み、オリジナル音楽 CD の作成 ・スマホ、デジカメからの写真の取り込み ・電子メールの利用 ・ネットショップの利用、Google アカウント ・インターネットでプログラムをダウンロード、インストール ・写真、音楽を使ったスライドムービー作成 ・インターネット検索の方法 ・カレンダー作り
------------------	--

※12月17日にふれあいの里に於いて閉講式・学習成果発表を行った。

# 3 いきいきカレッジ (老人大学) 申込・受講者数

・申込者数 (人)

専門科目	男性	女性	合計
陶芸を楽しもう科	0	3	3
笑顔で体操しよう科	2	9	11
パソコンをもっと知ろう科	5	6	11
合 計	7	18	25

・受講者数 (人)

専門科目	人数
陶芸を楽しもう科	3
笑顔で体操しよう科	10
パソコンをもっと知ろう科	8
合 計	21

# (ウ) 短期主催事業

(人)

講座名	実 施 期 間	受講者数
初心者のための	【第1回】 7月6日~9月14日(全10回) 10:10~12:10(2時間)	5
パソコン講座	【第2回】 1月18日~3月22日(全10回) 10:10~12:10(2時間)	4 (1 辞退)

(エ) 単発事業

(人)

実施期間	事 業 名	場	所	参加者	内 容
1月24日 ~ 2月18日	作品展·活動 紹介(月間)	福祉セン 1階 相談室 1階2階 テレビモ	・廊下	延べ 174 ※準備 片付 含む	活動団体の活動紹介及び成果発表の場として、運動系は活動風景を動画撮影し編集したものを3月31日までの期間館内のテレピモニターで活動紹介し、文化系は各々の作品を出展していただいた。展示スペースを広く設け、鑑賞人数についても制限を設け消毒等についても徹底した。

※"第 20 回福祉センターまつり""第 36 回ふれあいの里バスツアー""多世代交流会"を 予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止とした。

# ② 同好会活動等

	同 好 会 名	活 動 日	時間	会員数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	$10:00 \sim 15:00$	18
1	阿云门灯云	② 毎週水・土曜日	$10:00 \sim 15:00$	26
2	え~やろ仲良会	① 第2・4月曜日	$10:00 \sim 12:00$	21
2	太~やの仲良云	② 第 1·3 月曜日	10:00 ~ 12:00	20
3	書道悠墨会	第2・4火曜日	10:00 ~ 12:00	13
4	革工芸同好会 (コロナで活動休止中)	月2回 木曜日	12:00 ~ 15:00	4

		A 第1・3木曜日	14:10 ~ 15:10	11
5	健康体操ABCD	B 第2・4木曜日	14:10 ~ 15:10	12
3		C 第1・3木曜日	$13:00 \sim 14:00$	10
		D 第1・3 木曜日	11:15 ~ 12:15	11
6	パソコン同好会	第2・4水曜日	$10:00 \sim 12:00$	8
7	いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	$13:30 \sim 15:00$	10
8	太極拳同好会	毎週 金又は土曜日	$13:00 \sim 15:00$	6
9	パソコン撫子会	月2回 火・木曜日	$10:00 \sim 12:00$	8
10	パソコン 44 会	月2回 火曜日	13:00~ 15:00	7

# ③ その他の利用団体

(人)

	団 体 名	活 動 日	時間	会員数等
1	46 期パソコン科OB	月2回 水曜日	$10:30 \sim 12:30$	10
2	パソコンあじさい	月2回 木曜日	$10:00 \sim 12:00$	8
3	48 期パソコン科OB	月2回 火曜日	9:30 ~ 11:30	8
4	つどい場運営ボランティア	毎週水曜日	9:30 ~ 12:30	8
5	手芸ボランティア	月2回 月曜日	13:00 ~ 16:00	14

# (4)利用者の月別状況

		つど	い場	ζ,	h <del>i</del>		健康体操			手	エア	工	
月	主催事業	参加者	ボランティア	いきいきカレッジ	短期・単発事業	同好会	体操 A B C D	個人・団体	介護予防	手芸ボランティア	ノロバイク講習会	エアロバイク利用	合計
4	30	28	16	0	0	220	74	38	0	15	0	86	507
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	12	15	12	0	0	39	0	48	0	36	0	17	179

7	57	46	25	0	19	268	68	85	0	28	0	61	657
8	62	26	23	0	18	191	51	68	0	19	3	52	513
9	55	38	30	65	10	242	56	70	0	39	0	48	653
10	64	44	26	102	0	306	68	479	0	23	0	94	1,206
11	60	31	20	84	0	281	68	219	0	26	3	68	860
12	67	51	24	62	0	266	76	107	0	31	0	48	732
1	53	35	17	0	97	215	62	51	0	26	0	33	589
2	68	30	12	0	101	215	58	91	0	13	0	49	637
3	65	57	25	0	11	257	67	163	0	38	0	49	732
合計	593	401	230	313	256	2,500	648	1,419	0	294	6	605	7,265

※ 個人・団体は、法人内他施設の利用者・職員研修・会議等の利用を含む

# (5)年齡別利用証交付状況

(人)

年齢性別	45~ 49	60~ 64	65~ 69	70~ 74	75~ 79	80~ 84	85~ 89	90~ 94	合 計
男	0	1	3	15	19	22	7	1	68
女	0	3	16	67	63	31	7	1	188
合 計	0	4	19	82	82	53	14	2	256

# (6) 地区別利用証交付状況

地区性別	鳥飼北	鳥飼南	味生	味舌	千里丘	合 計
男	22	22	11	5	8	68
女	97	67	12	3	9	188
合 計	119	89	23	8	17	256

#### (7)身体障害者手帳等級別利用状況

級 1級 2級 3級 4級 5級 6級 合 計 性別 7 男 1 1 0 3 1 1 女 1 1 4 1 1 0 8 合 計 2 2 4 4 2 1 15

#### (8) 各種会議

1. 施設連絡会議(月2回)

- 2. 法人行事実行委員会(随時)
- 3. ふれあいの里内防災担当者会議(随時) 4. 職員会議(随時)

## (9) 災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確 認等を行った。 (人)

実施日	参加者	実施内容
11月1日	25	通報・避難訓練を利用者・職員で行った。
3月11日	9	震災訓練 ・大型地震発生時の身を守る行動について (コロナ禍改訂版) ・安全な場所で命を守る

## (10) 職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

(人)

研修日	研修名	出席者
8月5日	法人内研修(オンライン研修)「会計担当者研修」	2
9月9日	法人内研修(オンライン研修)「地域共生社会について」	1
11月2日 5日 8日	法人内研修(オンライン研修)人権・同和問題企業啓発講座 ・「ねっとの誹謗中傷をなくしたい	全職員
1月14日	ふれあいの里内研修「普通救命講習」 (全3回実施予定が新型コロナウイルス感染症拡大のため2回中止)	2
2月9日 10日	防火管理者講習	1

2月22日	摂津市高齢介護課主催「通いの場」事業人材育成フォローアップ講座 「認知症サポーター養成講座」 「認知症高齢者対応及びケアマネジメントについて学ぶ」	1
2月25日	法人内研修(オンライン研修)「会計担当者研修」	2

## (11) 新型コロナウイルス感染拡大防止の措置

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、玄関に非接触型温度計・消毒機を設置し館内要所に手指消毒液を配置した。そして、利用者に広く"3 密(密閉・密集・密接)回避を促すとともに、館内の空気を留めさせないよう換気扇やサーキュレーター等を適時作動させ、更に換気を徹底するため CO2 センサーを活用した。また、乾燥する冬季には加湿器を追加し館内各所で作動させた。使用後の各部屋の消毒にミストジェネレーターを導入し消毒液の噴霧を行うなど対策強化を行った。

感染拡大防止のため、令和3年4月25日より6月20日までの期間休館とした。

# 6 摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」

#### (1) 概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科で、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練を実施した。OA実務科では令和2年10月生の引継生5名と、令和3年4月入校生OA実務科5名、実務作業科9名の19名でスタートした。6月にOA実務科1名が退校し、6月からは18名となった。新たに10月生が5名入校し、以後は18名で訓練を行った。

令和 2 年度は新型コロナウィルス感染症の影響で参加できなかったアビリンピック大阪大会だが、令和 3 年度は実務作業科 9 名全員が参加し、パソコンデータ入力では大阪支部長賞(銅賞)・製品パッキングでは大阪府知事賞(金賞)を受賞した。大阪府知事賞(金賞)を受賞した 1 名は第 41 回全国障害者技能競技大会(於:東京ビッグサイト)への大阪府代表として出場が叶った。

家庭との連携では、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで企業の絞り込みを行いながら就職活動を進めた。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、府立高等学校等に出向いて行きPRの強化を図った。

また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得科」は、問い合わせがあったものの訓練受講には至らなかった。

#### (2)職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページ、電子会計を中心に訓練を実施した。また企業から求められるプレゼンテーション等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、施設内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた訓練を実施した。また、清掃技術向上のために、敷地内にある福祉センターの清掃を行い、清掃技術だけではなくコミュニケーション能力向上を図った。

両科合同で行う訓練では、事務補助就労を目指した郵便物の仕分け、封入、ピッキング、パソコンのデータ入力等を行うだけではなく、対人関係を良好に築くためのスマイルエクササイズや手話等も実施した。

① 行 事 職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり感染対策を徹底して行事を実施した。

実施日	行事名	場所	参加者	内 容
4月 6日	入校式	せっつくすのき	実務作業科9名 OA実務10名	入校式後 各科でホームルーム 実務作業科 38 期生 9 名 O A 実務科 53 期生 5 名
4月 7日	オリエンテーション	n	n	訓練生を2グループに分け て午前・午後のオリエンテ ーションを実施
5月 20日	就職相談	"	OA実務科 52期生 5名	管轄職業安定所の担当官 との個別就職相談
5月31日 ~6月11日	保護者等懇談	n	実務作業科 保護者・支援者 9名	保護者の参観、懇談
6月19日	アビリンピッ	ポリテク	実務作業科 3名	競技:製品パッキング
7月 3日	ク大阪	センター	実務作業科 6名	競技:オフィスアシスタン ト・パソコンデータ入力・ ビルクリーニング
7月 8日		(株)JR 西日本 あいウィル	実務作業科	就職活動として
7月 14日 7月 20日	企業見学会	(株)スミセイ ハーモニー (株)ダイキンサン ライズ摂津	9名 OA実務科 4名	障害者雇用事業所を 見学する
9月29日	修了式	せっつ くすのき	実務作業科9名 OA実務科9名	
10月6日	入校式	n	実務作業科9名 OA実務科9名	入校生 O A 実務科 54 期生 5 名
10月21日22日	就職相談	n	実務作業科 9 名 O A 実務科 4 名 保護者 9 名	各管轄職業安定所の担当 官との個別就職相談
12月17日 ~20日	第 41 回 全国アビリン ピック大会	東京 ビックサイト	実務作業科 1名 保護者 1名	アビリンピック大阪府知 事賞(優勝)、全国大会進出 (製品パッキング)
3月 24日	お楽しみ会	せっつくすのき	実務作業科9名 〇A実務科9名	修了プレゼンテーション の鑑賞、ゲーム大会

3月 25日 修了式	"	修了生 実務作業科 38 期生 9 名 O A 実務科 53 期生 4 名
		別室での Web 参加を設定

# ② 採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、 職場実習をすすめ、就職活動を行った。

# ※障がい者合同面接会

実施日	名 称	場所	参加者
6月24日	高槻市障がい者合同就職面接会	高槻市生涯学習センター	OA実務科
7月 2日	ハローワーク茨木ミニ面接会	ハローワーク茨木	"
9月 9日	摂津市障がい者就労支援フェア	摂津市立コミュニティプラザ	"
11月18日	障がい者就職面接会	天満橋 OMM ビル	実務作業科
11月25日	茨木市就労支援フェア	茨木市役所	n
11月30日	ハローワーク梅田ミニ面接会	ハローワーク梅田	"
12月 1日	ハロ・ノ・ノ		"
12月10日	ハローワーク淀川面接会	ハローワーク淀川	OA実務科
3月 3日	障害者就職面接会	マイドーム大阪	11
3月 8日	ハローワーク茨木ミニ面接会	ハローワーク茨木	11

# ③ 就職状況

令和3年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

## OA実務科 第52生 4名

事業所名	所在地
株式会社チュチュアンナ	大阪市
株式会社キョーエーサンクス	高槻市
学校法人大阪医科薬科大学 大阪医科大学	高槻市
(株) パン・パシフィック・イ ンターナショナルホールディ ングス	大阪市

## OA実務科 第53期生 4名

事 業 所 名	所在地
パナソニックリフォーム(株)	豊中市
日本郵便(株)西淀川郵便局	大阪市
摂津市役所	摂津市
(株)PGS ホーム	大阪市

# 実務作業科 第38期生 9名

事業所名	所在地
(社福)大阪社会福祉事業団 永寿園	豊中市
㈱JR西日本あいウィル	尼崎市
シロキ工業(株)	茨木市
㈱ダイキンサンライズ摂津	摂津市

事業所名	所在地
株式会社ダスキン	吹田市
(株)ECC	大阪市
株式会社トウペ	堺 市
エースコック株式会社	吹田市

# ④ 家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時懇談等を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	保護者・支援者懇談内容		
5月20日	OA実務科	職業安定所就職相談会		
5月24日·6月23日 7月6日	実務作業科	職業センター重度判定		
5月31日~6月11日	"	訓練参観・懇談		
6月11日	OA実務科	保護者・本人 3者面談		
6月17日・6月22日	実務作業科	地域支援センターへの相談		
6月29日	"	グループホーム・就ポツ・卒業支援学校などの連携 機関が参加してのサービス担当者会議		
7月17日	11	訓練生・実習生とのトラブルについて懇談		
9月21日	"	実習トラブル・謹慎後の懇談		
10月21・22日	実務作業科 〇A実務科	職業安定所就職相談会		
11月 6日	実務作業科	実習、訓練生間トラブルについての懇談		
2月 22日	OA実務科	就職、これからの進路について 3者懇談		
1月11日・1月12日				
1月13日・1月25日	実務作業科	   障害者就業・生活支援センター面談・登録		
2月8日・3月16日	OA実務科	1十日日初57 上旧入汉(7) 四次 豆虾		
3月17日・3月29日				

#### (3)健康管理

食中毒・感染症予防対策としては、スタンド式サーモグラフィ、非接触体温計、マスク、 手洗い消毒液やアルコール消毒液を導入して対応した。訓練生や家族に対して、機会毎に 注意文書の配布や掲示、またセコム安否確認サービスを利用して職員・訓練生の健康状態 を把握しタイムリーな行動支持と状況把握に活用した。施設内においては、感染対策とし て日々の健康チェック・行動管理シートの記入、朝昼のアルコールによる消毒、部屋の換 気、3密の回避のため、更衣室の人数制限、食堂の時間差利用、合同訓練・体育の中止、 訓練生全員集まる事業の中止等を行った。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委 託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場所
9月13日			
9月14日	点, 4. 司、河 、 南、广	実務作業科 38 期生 9 名	上75位
9月15日	身体計測、血圧、 聴力、視力、	OA実務科 53 期生 4 名	大阪府
9月16日	一 <sup>曜刀、倪刀、</sup> 尿検査、胸部レントゲン		結核予防会 複十字病院
3月14日		OA実務科 54 期生 5 名	後   子炳阮
3月15日		□ □ 五天伤性 34 期生 3 石	

#### (4)訓練生の状況

### ① 手帳の所持者

(療育手帳) (重複者1名)

(人)

判定性別	A	B1	B2	合計
男	1	0	6	7
女	0	1	2	3
合計	1	1	8	10

(身体障害者手帳) (重複者 2 名) (人)

級性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	2	2	1	2	1	1	9
女	1	1	0	1	5	0	8
合計	3	3	1	3	6	1	17

(精神保健福祉手帳) (重複者) (人)

判定 性別	1	2	3	合計
男	0	0	4	4
女	0	1	0	1
合計	0	1	4	5

② 通校状況 (人)

	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		52 期生	5	5	5	5	5	5							30
在	OA実務科	53 期生	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51
籍者		54 期生							5	5	5	5	5	5	30
数	実務作業科	38 期生	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
	合	計	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	219
	訓練日	数	19	18	22	20	16	19	18	20	18	18	17	17	222

③ 地域別 (人)

		OA実務科	ŀ	実務作業科	合 計
	52 期生	53 期生	54 期生	38 期生	口 副
摂津市	1	1	1	0	3
茨木市	2	0	2	2	6
大阪市	1	2	1	2	6
高槻市	0	1	0	1	2
寝屋川市	1	0	1	0	2
吹田市	0	0	0	1	1
池田市	0	0	0	1	1
守口市	0	0	0	1	1
枚方市	0	0	0	1	1
大東市	0	1	0	0	1
合 計	5	5	5	9	24

# ④ 年齢別(入校時)

(人)

年	松	~19才	20	30	40	50	60 ± ~	合 計
年 齢		~197	~29才	~39才	~49才	50 ~59才	00 4	П н
OA実務科·	男	1	1	1	4	1	0	8
	女	0	1	1	1	3	1	7
実務作業科	男	2	5	0	0	0	0	7
	女	1	0	0	1	0	0	2
合 計	男	3	6	1	4	1	0	1 5
	女	1	1	1	2	3	1	9

# ⑤ 入校斡旋職業安定所

(人)

		茨木	淀川	門真	池田	梅田	枚方	大阪	大阪	阿倍	合
								西	東	野	計
OA実務科	52 期生	3	0	1	0	0	0	0	0	1	5
	53 期生	2	0	1	0	2	0	0	0	0	5
	54 期生	1	0	0	2	0	0	1	1	0	5
実務作業科	38 期生	3	1	1	1	2	1	0	0	0	9
合計		9	1	3	3	4	1	1	1	1	24

# ⑥ 通校の方法

方	法		電車バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
	52 期生	男	1	2	0	0	0	3
		女	0	2	0	0	0	2
○ A 宝教科	53 期生	男	2	1	0	0	0	3
OA実務科		女	0	1	1	0	0	2
	54 期生	男	2	0	0	0	0	2
		女	1	1	1	0	0	3
実務作業科	38 期生	男	5	2	0	0	0	7
关闭计未件	30 别生	女	2	0	0	0	0	2
合 計		男	10	5	0	0	0	15
		女	3	4	2	0	0	9

#### (5) 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業(作業習得科)

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	令和3年8月2日	令和3年11月1日		
副豚果州町	~ 10月29日	~令和4年1月31日		
定員	年間	3名		
受講者	0名	0 名		

#### (6) 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- 1. 施設連絡会(月2回) 2. ケース会議(随時) 3. カリキュラム会議(随時)
- 4. 各行事会議(随時) 5. 法人行事実行委員会(随時)・人材育成策検討委員会

#### (7) 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。

(人)

実施月日 想定災害		訓練内容	参加者		
	火災避難	避難訓練	訓練生 18 職員 7		
8月4日	水害避難	水平避難場所である鳥飼 東小学校への経路につい て実際に確認する。	職員 7		
9月 3日	地震避難	大阪 880 万人訓練	訓練生 13 職員 10		
ぶれあいの 11月10日 里・総合 消防訓練		通報・避難・消火訓練 協力:摂津市消防本部	ひびきはばたき園 身体障害者・老人福祉センター せっつくすのき		
2月28日	火災避難	避難訓練	訓練生 14 職員 10		

職員については、摂津市消防本部の協力を得て普通救命講習会を計画した。3日間で全職員の受講を予定していたが、新型コロナウィルス感染症のまん延で一日実施したのみで終了した。(主任・指導員の合計 2 名が受講)

# (8) 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機 関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5月21日	防護服着脱研修	せっつくすのき	せっつくすのき 協力 東郷主幹	職員
7月13日	事業計画継続と 中小企業強靭化法 BCP セミナー	摂津市商工会会議室	摂津市商工会 摂津市産業振興課	統括
6月14日 ~ 3月31日	中長期的キャリア形成 のためのキャリコン研修	オンライン	訓練対応 キャリアコンサルタン 向け研修 若者応援キャリアコン サルタント育成研修	施設長指導員
9月10日	能力開発施設連絡会 講演会 「職業能力開発訓練事業の これから」	オンライン	能力開発施設連絡会	施設長指導員
12月2日 12月3日	障害者職業生活相談員 資格認定講習	ポリテクセンター 関西	(独)高齢・障害・求職 者雇用支援機構	指導員
12月16日	医療機関から見た精神疾患 の特徴と雇用管理における 留意ポイント	オンライン	ハローワーク茨木・ 門真・枚方 雇用開発協会	施設長指導員
12月17日 12月18日 12月19日	就労支援フォーラム NIPPON2021	オンライン	日本財団就労支援フォーラム	主任
2月~	令和 3 年度 サービスガイドライン研修	オンライン	ランゲート株式会社	指導員
2月17日	北摂版ジョブライフサポー ター養成講座	豊中市立文化芸術センター	大阪府域障害者就業・ 生活支援センター 連絡会	主任
3月9日	働きづらさを抱える方の雇 用マネージメント 事例か ら学ぶワークショップ	オンライン	NPO 法人全国就業支援ネットワーク事務局	主任指導員

実施日	検定名	科目名	合格者
5月4日	日本商工会議所 簿記3級	OA 実務科	1
6月21日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	"	2
6月23日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	"	1
7月 2日	日本商工会議所 簿記3級	"	1
7月 2日	日本商工会議所 簿記初級 日本商工会議所 P C 検定(データ活用) 3 級	"	2 1
7月14日	日本商工会議所 PC検定(データ活用) 3 級	<i>11</i>	1
7月16日	日本商工会議所 簿記初級	"	1
9月9日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級 日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級 日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	"	1 1 2
9月17日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 3級 日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 2級	"	3 1
9月21日	日本商工会議所 PC検定 Basic	"	1
9月24日	日本商工会議所 P C 検定(文書作成)2級 日本商工会議所 電子会計実務検定3級	"	1 1
10月18日	日本商工会議所 PC検定(文書作成) 3級	"	2
11月 5日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	"	1
11月30日	日本商工会議所 簿記2級	"	1
12月 3日	日本商工会議所 簿記初級	"	5
12月21日	日本商工会議所 簿記3級	"	1
1月21日	日本商工会議所 P C検定(プレゼン資料作成)2 級	"	1
1月28日	日本商工会議所 簿記3級	"	1
2月17日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級	11	1
3月 3日			1
3月 7日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2 級	"	1
3月18日	日本商工会議所 PC検定(データ活用) 3 級	"	2
3月22日	日本商工会議所 電子会計実務検定3級 日本商工会議所 電子会計実務検定2級 日本商工会議所 簿記3級	"	2 1 1

#### (10) 訓練生の募集活動・施設の P R活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対するPR活動に努めた。また支援学校、企業、放課後デイサービスなどの福祉サービスからの施設見学、大学生の実習(作業療法学科)を積極的に受け入れている。

実施日	PR事業	主 催	内 容
7月 5日	[序] 2 4 开始 从 3 日 4 十	大阪府 摂津市	障害別に大阪府下の障害者職業訓練校
11月 5日 12月10日	障がい者職業訓練   合同説明会	大阪府	の訓練内容について関係機関、学校向 け合同説明会を実施
10月29日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	11	募集時期に合わせて各訓練校の内容・ 特色等の説明会を実施

#### 【応募生職業評価選考試験】

令和3年10月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対 象 者
8月20日	OA実務科	5	11	5	身体障がい者

令和4年4月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対 象 者
12月8日	実務作業科	10	13	10	知的障がい者
2月 9日	OA実務科	5	8	5	身体障がい者

#### (11) アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

#### (12) 修了生アンケートの実施

修了生に対してアンケートを実施している。各科毎に訓練カリキュラムについての満足度調査を実施し、PDCA サイクルの評価として活用して改善へと繋げている。一人ひとりの回答に目を向け、入校のきっかけとなったこと、就労に向けてのプロセス上で感じ

たこと、また期毎のグループの傾向を読み取り、アンケート集計を分析している。

#### (13) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響等

令和3年度は新型コロナウィルスの感染拡大によりまん延防止等重点措置適用や緊急 事態宣言が発令されたが、「新しい生活様式」を取り入れ感染防止対策に努めて通常訓練 を実施することができた。「障がいの障壁をこえた訓練」「お互いの障がいについて理解を 深める訓練」「コミュニケーションを課題にした訓練」これらが当センターの特色である が、感染防止を考慮して、各科が交流する機会を減らすように対策をしなければならなか った。就職活動については、職場実習・見学の自粛が続いたこと、何よりも新型コロナウ ィルス禍により求人者数が減数したことに大きく影響を受けた。

# 7 摂津市立第1児童センター

#### (1) 概況

コロナ禍における児童センター事業の実施については様々な対応が必要となる。 先ず感染拡大防止対策として児童センター対応策をホームページに掲載し周知した。 また来館者には手洗い、アルコール消毒、検温、入館者名簿の記入を促した。貸出 用おもちゃは使用の都度アルコール消毒を行なった。環境整備としては常に換気を 心掛けそのための空調機、サーキュレーター、空気清浄機、二酸化炭素濃度測定器 を導入し活用した。乳幼児プログラムについては感染状況と実施内容に応じて定員 を決め申込制とした。特に緊急事態宣言発出による休館中にも、おもしろクラブを リモートで行った。大阪人間科学大学子ども教育学科との連携でもある、この事業 のリモート実施は他の子育て支援の機関が休館している中、保護者から高い評価を 受け他機関からも注目された。日常の自由来館では、密を避け、個別ではあるが競 いながら他者とのつながりを意識できるように、コロナ禍に対応した遊びを創意工 夫して実施した。新たな遊びの提供として、一人で挑戦する月間遊びを行った。子 どもたちが月毎に違う遊びに個別で挑戦し月間のチャンピオンを目指しながら年間 ランキングを競うものである。行事の実施については実施時の感染状況に応じて柔 軟に定員や内容を適合させて取り組んだ。しかしながら、飲食を伴う行事や感染リ スクの高いとされた活動については中止せざるを得なかった。

対外活動では法人の社会貢献事業の「こども食堂」も感染状況により会場である別府コミュニティセンターが使用できず年間を通して実施できなかった。摂津市子ども食堂ネットワーク委員会に参画し他の事業者と情報を共有した。

利用者に対するこれらの情報発信は市広報誌やセンターニュース、館内外のポスター、チラシの掲示といった従来の方法のみならずホームページ、フェイスブック、インスタグラムといったSNSを活用し行事の様子や月間遊びを紹介し頻回に更新した。臨時休館中には手作りおもちゃのキットを配布しあそびの支援が途切れないようにした。

#### (2) 利用について

- ①利用対象
  - ・保護者が同伴する乳幼児
  - ・小学生
  - ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
  - ・その他指定管理者が適当と認める者

#### ②利用手続 (入館は無料)

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合 は「特別使用許可書」の交付を受ける。

#### ③開館時間

・午前8時45分から午後5時15分まで(感染状況から開館延長は未実施)

#### ④休館日

- ・日曜日 ・国民の祝日 ・12月29日から1月3日まで
- ・4月25日から6月20日まで新型コロナウイルスの感染拡大防止ための緊 急事態宣言発出による臨時休館

#### (3)年間主要行事の実施状況

感染症対策を講じて実施した令和2年度での取り組みも踏まえ、コロナ禍以前の事業について継続するもの、変更するものとを精査した。また新たな取り組みとして外遊びを取り入れた。4月25日~6月20日までの臨時休館中は来館による行事は中止、リモート等を使った事業展開も新たに実施。食事を伴う事業については令和3年度についても中止とした。まん延防止等重点措置期間(4月5日~24日、6月21日~8月1日、1月27日~3月21日)は事業内容や参加人数の変更等をその都度検討した。

I. 新型コロナウイルス感染症による臨時休館中のため、未実施の行事

5月:母の日クラフト、新1年生歓迎会

6月:父の日クラフト

Ⅱ. 食事や宿泊を伴う、また多数の参加が見込まれ中止した行事

4 月 : 児ーセンまつり2021

7月: 児ーセンツアー21、夏まつり、ヤックン、サロン de シャベロン

8月:すこやかネット、

12月:もちつき

3月:多世代交流会、お別れサロン、お別れドッジ&ぜんざい

#### III.臨時休館中の取り組み

・手作りおもちゃキットの配布(各回4種類用意し、うち2種類を持ち帰り)と ホームページ等での作り方動画の配信

1回目 5月22日~ 63個配布 33人 2回目 6月 7日~ 56個配布 29人

・おもしろくらぶパート I Zoom 機能を使用したリモートでの実施 5月 1 4日 $\sim$  6月 1 8日 合計 6回実施

#### IV. コロナ禍以前の既存事業で内容や定員を検討し実施した行事

(人)

実施日	行 事 名	変 更 点	定 員	参加者数
8月23日	みんなであそぼう &おおそうじ	密集を避ける内容に 変更	_	23
8月31日	乳幼児ウォーター ランド	事前申込制 各部 20 組	40(組)	38(組) 69
12月28日	みんなであそぼう &おおそうじ	密集を避ける内容に変 更	_	30
1月29日	節分	密集を避ける内容に変 更	_	21
3月10日	乳幼児ランド	事前申込制 各部 20 組	40(組)	37(組) 72
3月27日	Jステージ	まん延防止等重点措置 により実施時期を延期	_	71 (出演者含)
3月31日	お別れお楽しみ会	ぜんざいをやめ、館全 体を使った内容に変更	_	30

# V. 「 $\bigcirc\bigcirc$ ウィーク」と題し密集を避け、小学生だけでなく来館者全員が楽しめる内容に変更した事業

(人)

実施日	行事名	実施内容	参加人数
9月13日	月見	クイズ・展示物・クラフト	クイズ:34
~22日	de ウィーク	の実施	期間内来館者数:416
10月23日	ハロウィン	クラフト・フォトギャラ	フォト:26
~30日	de ウィーク	リーを実施	期間内来館者数:354

12月11日~25日	クリスマス de ウィーク	クリスマス会 (パーティー のみ定員申込制:50人) 乳幼児クリスマス会(定員 申込制30組) クイズ・クラフトを実施	クリスマス会:50乳幼児クリスマス会:30(組)65クイズ:26期間内来館者数:684
1月4日~15日	お正月 de ウィーク	書初め・コマまわし大会・ 巨大かるた大会・お正月あ そびを実施 かるたはこどもたちと手作 りした	書初め:20 コマまわし:7 かるた:14 期間内来館者数:483

# VI. 感染症対策を考慮した新たな事業

(人)

実施日	行事名	実施内容	備考	参加者数
6月 ~3月	月間あそび (令和2年 度より継続 実施)	月ごとにあそびを設定し、 月間を通してチャンピオン を競う。 年間ランキングでキングを 決定。	SNS にて見本動 画を掲載	500 5・6月 は未実 施)
7月29日	どろんこあ そび	園庭全体を使用しての外遊 び	事前申込制	2 3
9月22日	しゃぼん玉 あそび	園庭全体を使用しての外遊び		1 4
7月 ~12月	フィールド ビンゴ鬼 ごっこ 準備も含め 計8回	児童健全育成推進財団主催 野遊び・外遊びプログラム 実践研究会へ参画	子どもたちの意 見を取り入れ、 ブラッシュアッ プし、プログラ ムを完成させた	8 0

## ①定例行事活動

登録制の親子プログラムである $[Puku^2][Muku^2][O$  いで」については密集や密接を避けるため定員を設け、事前申込制とした。またけん玉認定会等を定期的に実施した。

(人)

行 事 名	実施回数	延参加者数
P u k u M u k u 6 ヶ月~2 歳児	25回	3 1 8
ひよこちゃんよっといで 3 歳児~	26回	286
乳幼児の日	2 回	3 9
保健師講座	1 回	1 8
トランポリンの日	6 回	3 9 6
けん玉認定会(移動児童館含む)	16回	4 0 2

# ②教室活動

例年実施している専門講師を招いての教室活動は開催を見合わせ、職員指導によるクラフト教室を実施した。また、「○○de ウィーク」では季節のクラフトを実施。対象を小学生だけでなく、乳幼児親子も参加できる内容を行った。

(人)

実施日	行事名	対象	定員	参加者数
8月7日	夏休みクラフト スマートボールづくり	小学生	12	12
9月18日	月見 de ウィーク 月早見盤づくり	来館者全員	_	27
10月30日 (2部制)	ハロウィン de ウィーク お菓子箱づくり	来館者全員	40	36
11月20日	クリスマスクラフト 段ボールツリーづくり	小学生	20	20
12月24日~25日	クリスマス de ウィーク ツリーづくり	来館者全員	_	19
12月27日	お正月クラフト 凧づくり	幼児親子 小学生	20	20
2月12日	バレンタインクラフト リースづくり	小学生	16	17

#### ③クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、感染症対策を講じながら継続 指導を行った。リコーダークラブについては感染症リスクが高い活動とみなされ、 通算で約9か月間活動を見合わせた。けん玉クラブ、卓球クラブについては前期 に3か月間活動を見合わせた。幼児親子対象の「おもしろくらぶ I 期」では大阪 人間科学大学こども教育学科と連携し、リモートを使用して協働した。

(人)

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者数
けん玉クラブ(前期)	4月7日~8月19日木曜日9回	1 5	1 2 6
" (後期)	10月8日~3月24日木曜日 24回	1 5	3 3 8
卓球クラブ (前期)	4月9日~8月6日 金曜日9回	1 5	188
" (後期)	10月1日~3月18日 金曜日 21回	1 5	2 7 6
リコーダークラブ (前期)	4月3日 土曜日1回	1 0	8
(後期)	10月16日~3月19日土曜日 13回	1 5	1 6 3
クリスマスキャスト	10月2日~12月11日計10回	1 0	9 7
おもしろくらぶ I 期 →臨時休館中はリモー トで実施 ※学生はリモートのみ	リモート: 5月19日~6月18日 金曜日 6回 対面 6月25日、7月2日 2回	1 6	2 4 5
ッ II 期	10月1日~11月19日 金曜日 8回	1 6	2 4 1
こどもスタッフ (前期)	4月3日~9月11日 計10回	1 0	5 7
(後期)	10月2日~3月31日 計20回	1 4	1 6 7

#### ④各種大会参加

新型コロナウイルスの影響で対外試合や対外活動はほとんど中止となった。 文部科学大臣杯けん玉道選手権大会(南関西予選会:大阪・奈良・和歌山)については8月に開催され、けん玉クラブ員が準優勝するなどクラブ活動の成果として健闘した。

# (4)使用状况 (人)

月	個 人 使 用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	1,151 (193)	21	1,172	21	56
5	0 (0)	0	0	0	0
6	367 (104)	13	380	9	42
7	1,410 (229)	52	1,462	25	58
8	1,442 (179)	18	1,460	25	58
9	1,302 (173)	402	1,704	24	71
10	1,331 (588)	56	1,387	26	53
11	1,381 (611)	66	1,447	24	60
12	1,318 (504)	54	1,372	24	57
1	947 (446)	115	1,062	23	46
2	791 (188)	78	869	22	40
3	1,592 (432)	96	1,688	26	65
計	13,032 (3,647)	971	14,003	249	56

# ※( )は主催事業参加者

特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

# (5)年齡別使用証交付状況

(人)

月	乳児	幼児	1年	2 年	3年	4 年	5年	6年	合計	累計
4	22	63	29	20	39	63	61	38	335	335
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	15	15	4	1	4	5	2	1	47	382
7	16	43	11	19	12	15	18	21	155	537
8	13	26	4	7	2	13	3	15	83	620
9	8	15	3	4	3	1	3	1	38	658
10	12	15	3	0	6	3	7	2	48	706
11	22	17	3	4	9	1	5	7	68	774
12	10	24	9	1	12	3	7	2	68	842
1	10	15	0	0	4	1	2	0	32	874
2	3	2	2	1	0	1	11	0	20	894
3	17	7	3	3	9	4	9	6	58	952
合計	148	242	71	60	100	110	128	93	952	

#### (6)学校別使用証交付状況

(人)

月	摂 津	味 舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	166	43	24	17	250	250
5	0	0	0	0	0	0
6	11	4	1	1	17	267
7	55	22	16	3	96	363
8	24	10	8	2	44	407
9	11	4	0	0	15	422
10	13	2	4	2	21	443
11	20	5	2	2	29	472
12	29	5	0	0	34	506
1	5	2	0	0	7	513
2	15	0	0	0	15	528
3	20	9	5	0	34	562
合計	369	106	60	27	562	

#### (7) ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの影響により例年に比べ行事でのボランティア受け入れは 減少した。また日常ボランティアの受け入れも感染症対策をしながら受け入れた。

(人)

F	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
П	数	7	0	2	3	10	2	5	3	6	10	12	15	75
行事・	日常													
ボラン	ティア	12	0	3	6	19	2	6	6	7	13	15	33	122
活動者	数													

#### ※ (2) ~ (7) において4月25日~6月20日は臨時休館中のため集計はなし

#### (8)個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。

虐待やいじめを受けているなどが疑われる児童については、来館時に受付にて 様子を見て声かけを行った。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からア プローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

# (9)職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。令和3年度は新型コロナウイルスの影響 Zoomでの研修も受講した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
4月20日	オンライン 子育て講座 コロナ禍での 前向き子育て	Zoom	摂津市	児童 厚生員	
9月9日	共生・福祉のま ちづくり ソーシャルイン クルージョン研 修		大阪府社会福祉協議会	児童 厚生員	オンライン講座
10月19日	大阪府				[児童の発達理論]
11月8日	児童厚生員等	大阪市	大阪府地域福 社推進財団	児童	[安全指導・安全管理]
1 1月25日	研修会	八版川	皿16.座州口	厚生員	[ゲーム・運動遊び] [表現活動]
11月5日	人権・同和問題 企業啓発講座	ふれあ いの里	法人内研修	児童 厚生員	
11月7日	全国児童館・児 童クラブみやぎ 大会「つながる 〜こどもまんな か」	Zoom	宮城県児童 館・児童クラ ブ連絡協議会 児童健全育成 推進財団	児童 厚生員	
2月6日	全国子ども健全 育成リーダー養 成セミナー	Zoom	一般財団法人 児童健全育成 推進財団	児童 厚生員	
3月7日	全国児童館・児 童クラブオンラ インフォーラム	Zoom	全国児童厚生 員研究協議 会・ 一般財団法人 児童健全育成 推進財団	児童厚生員	

## (10) 運営委員会について

(人)

	実 施 日	内	容	参加者
第1回	8月1日	事業報告、決算概要、	1 0	
<b>第</b> 1 凹	0 月 1 日	書面決議とした	1 0	
第2回	3月29日	事業計画、予算概要、	近況報告	6
第 4 凹	3 月 29 日	質疑応答		6

#### (11) 新型コロナウイルス感染症に対する措置

令和3年4月25日~6月20日まで臨時休館措置とした。6月21日より再開、 乳幼児親子プログラムは定員を設け実施した。なおまん延防止等重点措置により夏季の開館延長は未実施とした。

新型コロナウイルス感染症対策として、玄関に手指消毒液の他に検温器を設置、 各所の消毒や部屋のこまめな換気等の予防対策に取り組んだ。令和 2 年度に引き続き来館者には手洗い、マスクの着用を促した。発熱など体調のすぐれない人には来館を見合わせるようにお願いし、来館者名簿の記入により入館時間も管理した。

利用者に対する周知は掲示板での告知、ホームページほかSNSを利用し状況の変化に混乱を招かぬように対応した。また臨時休館中に手作りおもちゃキットの配布を実施、自宅でできる遊びの動画などを配信した。

#### (12)避難訓練等

全来館者を対象にして火災、地震想定の避難誘導消火訓練を実施した。

(その他の避難誘導訓練は以下の通り)

実 施 日	参 加 者	実 施 内 容
3月10日	72	乳幼児ランドで幼児親子を対象に火災を想定して 避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の
		講話と消防車の見学は未実施。

# 8 摂津市障害者総合支援センター

#### I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

#### (1) 概況

令和 3 年度は、相談支援部門における事業については、当センターが担うべき基本的事業を継続しつつ、重点策としては、「次世代を見据えた人材育成」「地域における相談支援の中核的な機能をもつ基幹相談支援センターとして行う地域支援の充実」「地域生活支援拠点等事業の基礎的枠組みの構築」「新型コロナ感染防止」「法人相談支援部門の充実」を上げ、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」、〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」、〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

なお、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、感染防止を徹底しながら、大阪府 内の感染状況に応じて対面支援を電話やオンライン、郵便を活用した書面で実施した。

#### (2) 事業の状況

① 計画相談支援(サービス利用支援、継続サービス利用支援)

サービス等利用計画作成を 370 名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。なお、令和3年度の報酬改定により、報酬加算が増額となり、当初見込んでいた事業収入が増加した。

#### ② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい(身体・知的・精神)者である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい (主に発達障がい)の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教 育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハン ドブック、ホームページなどを見て連絡される。

コロナ禍において対面支援を電話やオンライン、電子メール等による支援に変更した 時期が長かったが、相談件数の大幅な減少はなく、数的には、概ね利用者のニーズに対応 できた。

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係·人間関係	家計·経済	生活技術	就労	社会参加·余暇活動	権利擁護	その他	T I
件数	1,278	7	511	304	2	237	143	118	98	5	68	56	2,8

#### (主催事業)

令和3年度については、摂津市から事業運営委託を受けている障がい児者を対象にしたエアロビクスダンス教室が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から摂津市の指示にて中止となった。また、法人主催の運動会や摂津市主催事業の風船バレーボール大会についても同様の理由で中止となった。

#### ③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、障がい者支援施設を退所してグループホームの利用を希望された1名の方へサービス提供を行った。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者(支給決定者)はなかった。

#### ④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点(基幹相談支援センター)の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、障がい者支援施設での長期入所者や精神科病院での長期入院者の地域移行の推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

令和3年度は、市内の相談支援専門員に対する定期的なスーパービジョンの実施や相談支援従事者研修の新カリキュラムの開始に伴うインターバル研修の受け入れを実施したために「相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整」に関

する対応件数が増加した。また、新型コロナ感染拡大に関する対応も多く、本事業の取組件数が昨年度に比べて80件増加した。

1)市自立支援協議会実務担当者会議						
(事務局会議·相談支援部会、障害児相談連絡会、地域移行部会等)						
2) 市障害者地域自立支援協議会全体会	年	1回				
3) 各支援学校主催会議や進路支援等	年	9回				
4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年1	12 回				
5) 介護給付費等支給審査会	年	6回				
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年	9回				
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年8	6回				
8) 成年後見利用支援や虐待対応	年	1回				
9) 新型コロナ感染症関係の対応	年3	7 回				
10)その他(研修講師、研修受講、市民団体への助言など)	年	4 回				
合言	+29	6回				

#### ⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談 支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事 業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネ ットワーク構築(地域自立支援協会等)に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、 地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

1)	アドバイザー報告連絡調整会議等	年	6回
2)	市町村地域自立支援協議会連絡会議	年	2回
3)	大阪府障がい者自立支援協議会委員参加	年	2回
4)	市町村へのアドバイザー派遣	年	1 1 回
5)	研修企画会議等	年	2回
		合計 '	2.3回

#### ⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス(介護給付費)の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の 委託を受け、115件の認定調査を実施した。

#### ⑦ 陽だまりと会議室(貸室)の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示(一部は販売)と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所、機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者に作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室

事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は12団体で令和3年度利用実績回数は12回

# (3)研修(人材育成)

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

実施日	内容	場所	主催	参加者
4月2日	着任時研修	摂津市障害者総合支 援センター	法人事務局	相談員1名
5月17日	防護服着脱等研修	摂津市障害者総合支 援センター	摂津市障害者 総合支援セン ター	施設長1名 施設長代理1名 相談員4名
6月10日	令和 3 年度第 1 回障がい支援区分認定調査員研修	映像配信	大阪府福祉部 障がい福祉室 障がい福祉企 画課	相談員1名
·6月23日 ~30日 (12時間) ·9月6日~ 8日(3時間) ·7月6日、 7日、8月4 日、30日、 9月13日	令和 3 年度大阪府相談支援 従事者初任者研修(7 日課 程)	映像配信ビッグアイ(演習)	社会福祉法人 大阪府障害者 福祉事業団	相談員 1 名
8月5日	法人内会計研修	オンライン	法人事務局	施設長1名 施設長代理1名
8月18日	発達障がいの理解と対応	オンライン	大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか	相談員1名
11月1日	着任時研修	摂津市障害者総合支 援センター	法人事務局	相談員1名

実施日	内容	場所	主催	参加者
11月5日	人権・同和問企業啓発講座	映像配信	法人事務局	施設長1名相談員2名
12月3日· 7日·8日	LGBT に関する人権研修	映像配信	法人事務局	施設長1名 施設長代理1名 相談員5名
12月6日	令和3年度第2回障がい支援区分認定調査員研修	映像配信	大阪府福祉部 障がい福祉室 障がい福祉企 画課	相談員 1 名
1月18日	個別 SST を学ぶ研修会(実 践編)	大阪府社会福祉会館	大阪府砂川厚生福祉センター	相談員1名
2月8日	触法障がい者の理解と支援 矯正領域における非行・犯 罪のアセスメント、刑務所 における処遇から	映像配信	大阪府障がい 者自立相談支 援センター 知的障がい者 支援課	相談員1名
2月16日	令和 3 年度障害者虐待防止 マネジャー研修会	映像配信	全国社会福祉協議会	施設長1名、 施設長代理1名 相談員5名
2月25日	法人内会計勉強会	オンライン	法人事務局	施設長1名 施設長代理1名
3月10日	令和 3 年度大阪府主任相談 支援専門員第 2 回フォロー アップ連絡会	オンライン	大阪府障がい 者自立相談支 援センター 地域支援課	施設長代理1名
3月15日	相談支援専門員研修 グループスーパービジョン について	摂津市障害者総合支 援センター	摂津市障害者 地域自立支援 協議会相談支 援部会	施設長1名相談員2名

上記の研修会への参加以外に毎週木曜日に相談支援専門員のスキルアップを目的とした 支援会議を実施した。

#### (4) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される 情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

#### ① 環境整備等の対策

三密を避けるために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を実施したり、新たに二酸化炭素濃度計測器の設置、来所者への健康チェックカードの記入依頼を実施した。

#### ② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成して職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。

さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合 に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。

また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による 感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染防止に対するモチベーションの維持、 向上に引き続き努めた。

#### ③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用と自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒と健康チェックカードの記入依頼への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。さらに、利用者や家族、関係する支援者等が感染者または、 濃厚接触者等になった場合に正しい状況を把握するための聞き取りシートを作成し、運用した。

#### ④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。

#### ⑤ 地域への対応

令和3年4月から摂津市障害者自立支援協議会主催の新型コロナウイルス感染者等発 生時の情報共有システムの運用が始まった。本システムは、自立支援協議会事務局である 当センターが事務局を担い、市内相談支援事業所と参加希望された摂津市内の障がい福 祉サービス事業所、児童通所支援事業所で構成されており、新型コロナ感染者等が発生した20事業所からの情報対応を行った。

#### (相談支援担当統括者)

相談支援担当統括者は、法人内相談支援事業(就業・生活支援センターも含む)の効率的かつ効果的な事業運営に向けた助言指導・指揮、人材育成、ガバナンスの強化等を実施し、法人内の相談支援事業の質の向上に努めた。

当センター内の相談支援事業である摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」及び 茨木・摂津障害者就業・生活支援センターに対しては、随時、助言・指導・調整を実施し、 児童発達支援センターに対しては、年間15件実施した。

また、法人に相談員として採用された職員に対する着任時研修も実施した。(令和3年度の実績は、3名対象に計2回実施)

## II 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

#### (1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携(連絡・調整)を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は52名で、障がい種別にみると、身体障がい者が7名、知的障がい者が31名、精神障がい者が11名、その他(難病等)が3名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が17名で茨木市が35名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

令和3年度事業の重点策については、下記の通り実施した。

#### ①次世代を見据えた人材育成

職員の世代交代が進む中で安定的な支援の継続をめざしていくためには、職員の専門性の向上が必要になり、従来積み上げてきた支援実績を基礎に時代のニーズに応じられるように、外部研修の受講や 2 週間に1回の内部会議の継続、スタッフ内での随時の情報共有や定期的なケース会議の実施、スーパービジョンの実施、外部研修の受講を実施した。

#### ②関係機関とのネットワーク体制の充実

就労支援のネットワーク構築については、コロナ禍においても感染拡大防止に最善を尽くしながら、オンライン会議や書面会議、参加人数を絞った対面での会議の主催や参加により、ネットワーク体制の維持に努めた。具体的には、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校、とりかい高等支援学校の運営協議会委員の就任をはじめ、摂津就労支援ネットワーク会議の座長を務め、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割を担った。

#### ③サービスの質の向上

就労している利用者が相談しやすい環境を作る目的に毎月第1、3 土曜日(利用者からの支援ニーズが増加してきたため、令和3年4月からは第3土曜日の開所を正式に実施)の相談日の実施を継続した。また、サービスの質の向上をめざして支援方針や支援内容を明確化した当センター独自の個別の支援計画やアセスメント票の様式を作成している。さらに、利用者への情報発信を目的に令和3年度の新たな取組として機関紙(年3回)を発行した。

## ④新型コロナ感染防止

感染防止を図りながら利用者が求めるニーズに対応する支援が滞らないよう最善の方法を検討して個別支援に取り組んだ。(新型コロナ感染防止の具体的取組は「(8)新型コロナウイルス感染防止に伴う措置」に記載)

## (2) 就業・生活支援センター活動の状況 (利用者参加)

実 施 日	行事名	場所	内 容
6月24日	障がい者合同就職面接相 談会	高槻市生涯学 習センター	高槻市障がい者合同企業面接 会
7月28日	とりかい高等支援学校職 業相談会	とりかい高等 支援学校	就職希望の3年生の職業相 談、就業・生活支援センター の事業内容の説明
8月13日	とりかい高等支援学校職 業相談	茨木摂津障害 者就業・生活 支援センター	相談会に参加できなかった方 に対応
9月9日	摂津市障がい者就職フェ ア	摂津市立コミ ュニティプラ ザ	摂津市障がい者合同企業面接 会
11月25日	茨木市障がい者就労支援 フェア	たまがわ高等 支援学校	就職希望の3年生の進路相談
11月17日	茨木市障がい者就労支援 フェア	茨木市福祉文 化会館	茨木市障がい者合同企業面接 会
12月1日	ピアサポート活動・在職 者交流活動	摂津市立身体 障害者・老人 福祉センター	利用者の方々に交流の場を提供するとともに作業療法士が 講師となってストレッチ等を 実施
12月9日	とりかい高等支援学校 ガイダンス	とりかい高等 支援学校	就業・生活支援センターのガ イダンスと利用登録

## (3)利用者の状況

# ① 地域別相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	247	98	151	12	508
茨木市	438	133	336	33	940
合計	685	231	487	45	1,448

② 新規相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	14	3	3	1	21
茨木市	20	2	22	3	47
合計	34	5	25	4	68

③ 延べ相談件数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	802	76	183	45	1,106
茨木市	1,089	188	775	70	2,122
合計	1,891	264	958	115	3,228

# ④ 市別利用登録者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	160	37	53	4	254
茨木市	283	51	124	12	470
合計	443	88	177	16	724

# (4) 就職の状況

① 職場実習

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	10	0	0	0	10
茨木市	9	2	2	0	13
合計	19	2	2	0	23

② 就職者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	11	3	1	2	17
茨木市	20	4	10	1	35
合計	31	7	11	3	52

# (5) 職員研修(人材育成)

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実施日	めるため研修会、連絡会等 研 修 名	主催	場所	内 容
8月18日	発達障がいの理解と対 応	大阪府発達 障がい者支 援センター アクトおお さか	オンライン	三国丘病院長による 発達障害の特性や症 例の講義
11月5日	第42回人権・同和問 題企業啓発講座	法人内研修	ふれあいの里	PeachAviation(株)黒木 氏の講義・木村響子 氏の動画配信
11月19日	就労支援機器説明会	独立行政法 人高齢・障 害求職者雇 用支援機構	大阪障害者職業センター	就労支援機器の紹介と便利な使い方
11月19日 から12月 7日	労働法の教え方セミナ ー 全4回	株式会社東 京リーガル マインド	オンライン	労働関係担当者向け に厚生労働省が労働 法の教え方をテーマ に開催
11月25日	就業支援実践研修	独立行政法 人高齢・障 害求職者雇 用支援機構	CIVI 研修セ ンター新大阪 東	精神障害コース(事例 検討)
12月3日· 7日·8日	LGBT に関する人権研 修	法人内研修	DVD	LGBT の意味と多様 な性へのあり方
12月9日	アルコール関連問題事 例検討会	<b>茨木保健所</b>	茨木保健所	事例検討・意見交換

実 施 日	研 修 名	主催	場所	内 容
1月12日	障がい者雇用助成金制 度説明会	独立行政法 人高齢・障 害求職者雇 用支援機構	ポリテクセン ター関西	障がい者雇用助成金 の説明
2月1日	大阪府内の知的障害者 福祉関係機関職員に対 する「機関研修会」	大阪府障がい者自立相談支援センター	オンライン	大阪少年鑑別所の実態の講義
2月28日	福祉支援職のメンタル ヘルスについて	とよなか障 害者就業・ 生活支援セ ンター	ホテルアイボ リー	EAP コンサルティン グセンター加藤氏に よるメンタルヘルス の講義
3月4日	お金の管理とトラブル のはなし	生活支援セ ンターあん だんて	オンライン	ファイナンシャルプ ランナー久保田氏の お金の管理とトラブ ルの講義

# (6) 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
茨木・摂津障害者就業・ 生活支援センター 運営会議	事業報告、事業計画、今年度の取り組みについて書 面にて郵送し意見をいただく形式にて実施	年1回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	パーソナルエクセルアソシエイツ株式会社の取り組みについて、企業に対する支援、企業における障がい者雇用についての講演、センター業務におけるSIGセッション、企業への支援と定着支援について、大阪府における定着支援について、就業・生活支援センターと支援学校の連携についてすべて咲洲庁舎にて集合開催	年4回

会議名	会議内容	回数
大阪府域障害者就業・生活 支援センター連絡会 A ブ ロック	各センターの取り組み状況について、府連本会へ向けての打ち合わせ、ジョブライフサポーター養成講座について、障がい者雇用ビジネスについて5月はオンライン会議、8月は小規模リモート併用開催、11月と1月は集合開催	年4回
令和3年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック意見交換会	地域におけるセンターの役割、役割を果たすために 改善すべき課題、情報交換 11月にオンライン会議で実施 幹事は滋賀労働局	年1回
摂津市障害者地域自立支 援協議会全体会	専門部会からの報告、摂津市障害者相談支援事業の報告、基幹相談支援センター等機能強化事業の報告 摂津市障害福祉計画等の実績等について	年1回
摂津市障害者地域自立支 援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年6回
茨木市障害者地域自立支 援協議会定例会	今年度の事業について、各部会・PT等企画について、災害時における課題整理表、全体会について、 災害対策ワーキンググループについて、地区保健福祉センターについて、来年度協議会予定について 年度途中から定例会シートに各機関が記入し、会議を進行するというやり方になった。会議はすべてオンライン会議	年7回
茨木市障害者地域自立支 援協議会就労支援部会	コロナ禍の情報交換、各機関からの状況報告、支援 学校での研修会実施、障害者雇用支援セミナー、リ ーフレットの活用、事業所向け研修会の実施。 会議はすべて集合、オンライン併用開催	年6回
茨木市障害者地域自立支 援協議会就労支援部会 コア会議	就労支援部会の事前打ち合わせや研修会の企画、意見交換。参加者は4名で、少人数で深い所まで打ち合わせができた。会議はオンライン会議、7月のみ集合開催で実施した	年8回

会議名	会議内容	回数
茨木市障害者地域自立支 援協議会全体会議	地域生活支援拠点等の取組状況について、進路マップについて、東保健福祉センターの運営状況について、新型コロナウィルス感染症による各部会・PTの活動の影響について、茨木市障害者地域自立支援協議会の概要について第1回は書面開催、第2回は集合開催	年2回
大阪府立摂津支援学校運営協議会	今年度の学校経営計画について、今年度の使用教科書について、取り組みの進捗状況、学校教育自己診断について、授業見学、進路状況第1,2回は集合開催、第3回は書面開催	年3回
大阪府立とりかい高等支援学校運営協議会	学校経営計画について、授業アンケート、教科書について、進路状況について、学校教育自己診断実施について 第1回は書面開催、第2,3回は集合開催	年3回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	各校より3年生の進路状況について、各関係機関より報告・情報提供及び情報共有、その他連絡事項1. 第1回は書面開催、第2回は集合開催、第3回目は 書面開催	年2回
特別支援学校と障害者就 業・生活支援センターの支 援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児 童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換 第1,2回は集合開催、第3回はオンライン会議で実 施	年3回
令和3年度 摂津市障害 者虐待防止ネットワーク 会議	令和 2 年度摂津市障害者虐待の状況 書面開催で実施	年1回

# (7) 就業・生活支援センターのPR活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木

公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してPR活動に 努めた。

#### (8) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される 情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

#### ① 環境整備等の対策

三密を避けるために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を実施したり、新たに二酸化炭素濃度計測器の設置、来所者への健康チェックカードの記入依頼を実施した。

#### ② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成して職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。

さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合 に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。

また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による 感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染防止に対するモチベーションの維持、 向上に引き続き努めた。

#### ③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用と自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒と健康チェックカードの記入依頼への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。さらに、利用者や家族、関係する支援者等が感染者または、 濃厚接触者等になった場合に正しい状況を把握するための聞き取りシートを作成し、運用した。

#### ④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。